

しょうばら

8

2015 / August
No.125

届け平和への思い

8月21日に開催される庄原市戦没者追悼式・平和祈念式典に向け、合唱の練習をする口北小学校の児童の皆さん。(関連記事6～11ページ)

2 特集 庄原市制施行 10 周年 vol.5

6 特集2 70 年目の夏

12 民泊型修学旅行の誘致を推進 / 児童扶養手当・特別児童扶養手当の現況届を忘れずに

13 花と緑で笑顔あふれるまちに

14 庄原市職員募集

15 オリジナルナンバープレートデザイン決定

16 庄原市斎場再編整備計画策定 vol.4

17 国勢調査

18 シリーズ障害を知り、共に生きる / 安心安全な毎日のために

19 光がやってきます / 母子保健だより

20 市民のページ

22 健康広場

23 市政トピックス

26 カメラレポート

28 お知らせ



庄原市制施行 10 周年

1_ブランド米づくりに取り組む山内自治振興区の皆さん／2_食農教育モデル事業／3_竹堆肥づくり



庄原市制施行 10周年 記念特集

vol.5

農林業振興の10年

合併から10年を振り返るシリーズ。
今月は農林業振興をテーマにお届けします。



1 農業振興の取り組み

農業自立振興プロジェクト

庄原市の基幹産業は農業です。市は、継続的・安定的な収入を得ることのできる農業の再構築を目指し、平成18年度から庄原市農業自立振興プロジェクトに取り組んできました。

主な取り組みとしては、営農意欲を持ち、販売を目的に農畜産業に取り組む農業者を

後継者不足などの課題を抱えているのが現状です。

平成17年の合併当時、6073戸だった本市の総農家戸数は、5年後の平成22年には5449戸まで減少し、少子・高齢化などによって農業の担い手不足が深刻化してきました。

これを解消するため市は、平成21年度から24年度までの間、「庄原市農業後継者育成事業奨励金」として、市内で新たに農業専業経営を目指す農家の後継者6人に対し、営農研修を行うための奨励金を交付しました。

また、24年度からは「庄原市新規就農者総合支援事業」として、国の支援制度を含めた新たな総合支援事業制度を創設しました。これにより、26年度までの間に17人の新規就農を目指す人や新規就農後の人に対し、研修・施設機械整備・経営の安定化・就農の定着など、それぞれ段階別に必要な支援を行うことで、新規就農者の農業経営の安定化を図りました。

近年、就農に関する相談件数は年々増加傾向にあります。合併当時の新規就農者数は年間3人程度でしたが、合併か

支援する「庄原市がんばる農業支援事業」、農業者からの営農相談に市独自の営農指導員を設置し対応する「営農指導力強化事業」、将来を担う子どもたちに食農教育を実施する小・中学校へ支援を行う「食農教育モデル事業」、農業法人の育成を支援する「農業法人育成事業」、和牛増頭への取り組みを行う「和牛振興対策事業」などを実施してきました。

特に「庄原市がんばる農業支援事業」では、平成20年度から7年間で301件6375万5千円の補助金を交付し、営農意欲のある小規模農家や認定農業者を支援することで、産直市での販売促進や担い手の育成を行ってきました。こうした取り組みにより農業所得10%アップの目標を達成する農業者も増えて

います。また、JA庄原や広島県などの関係機関と連携強化を進め、農業法人や企業参入などによる夏秋イチゴの生産やキャベツ団地の形成など、新たな形での農業生産も進んでいます。

このプロジェクトは本年度を最終年度とし、事業の見直

ら10年が経過した今、年間10人程度が就農し、合併以後43人が新規就農しています。今後、持続的な農業振興を行っていくためには、担い手の育成・確保が必須であり、農業関連学校の生徒やU・J・Iターンによる新規就農希望者を含め、新たな担い手に対して関係機関が一体となって支援することが求められます。

こだわり米の推進

県内有数の米どころの本市で、日本人の主食である米の安全安心を守っていくことは非常に大切です。

「こだわり米産地育成モデル事業」は、庄原産米のブランド化をめざすため、低農薬・低化学肥料による安全安心な米づくりを基本にし、特色ある栽培を行う「こだわり米」を地域に広めていく取り組みを支援するものです。

平成24年度から補助事業として取り組み、これまで3団体が採択を受けています。それぞれ、竹堆肥などを使った土づくりにこだわり、米を独自ブランドとして販売しています。

専業農家

板倉 孝 さん



米とハウレンソウの複合経営をしています。ハウレンソウは祖父の代から作り続け、現在パイハウス5棟で栽培しています。平成25年度に庄原市がんばる農業支援事業を活用して、高温障害の防止機能や防虫ネット、パイブ強度を高めたパイハウス1棟（6m×30m）を導入しました。

かなり経費がかかりましたが、この補助事業で3分の1の補助をいただけたので助かりました。また、この事業を申請する際には営農計画の記載が必要ですので、今後の自分の経営を検討する良い機会にもなりました。

現在、認定農業者取得に向けた準備をしていますが、これが認められれば、より有利な補助が受けられますので、ハウスだけでなくハウレンソウの栽培・収穫などに必要な機械などの導入も検討し、作付面積を増やしていきたいと思っています。

新規就農者を支援

市農業振興計画へ引き継ぎます。

本市。一方で、農業者の高齢化!

また、食味コンクールや米商談会などに参加し、ブランド米をPRするなどして、地域農業所得の向上をめざした取り組みを実施しています。平成26年度には、事業採択を受けた3団体が庄原市ブランド米推進協議会を設立。東京の米商談会などに参加し、知名度向上と販売促進を図っています。こうした取り組みが広がることで庄原産米のさらなる躍進が期待されます。



庄原市ブランド米推進協議会
会長
市川 基矩 さん

山内地域で取り組んでいるブランド米「里山の夢」が高い評価をいただき中で、東京や大阪などの大都市に売り込みにいきましたが、一地域の取り組みだけでは他県産のものには太刀打ちできないと強く感じたところです。

そうした思いから、山内だけの取り組みにとどまるのではなく、市内全体でブランド米作りが広がるのが重要という認識のもとで、昨年度、庄原市ブランド米推進協議会を立ち上げました。

ブランド米は“安全安心でおいしい米”であることが大前提です。それには土づくりが何よりも大切です。山内で培った知識や技術を惜しみなく他の地域にも公開し、山内方式が広がっていけば、庄原市の米の評価はさらに上がると思います。そしてそれをしっかりPRしていくことが大切です。各関係機関がしっかり手を携えて、日本一のブランド米を目指す気概で取り組むことが必要だと思います。





3 林業振興の取り組み

山の機能を取り戻す
森林には水をきれいにしたり、災害を防いだりする環境保全の機能と、スギやヒノキを中心とした木材生産の機能があります。
本市の森林面積は10万4715畝あり、広島県全体の森林面積の約17%を占めています。スギやヒノキの人工林が多く存在し、森林資源として利用できる木材が伐採時期を迎えています。

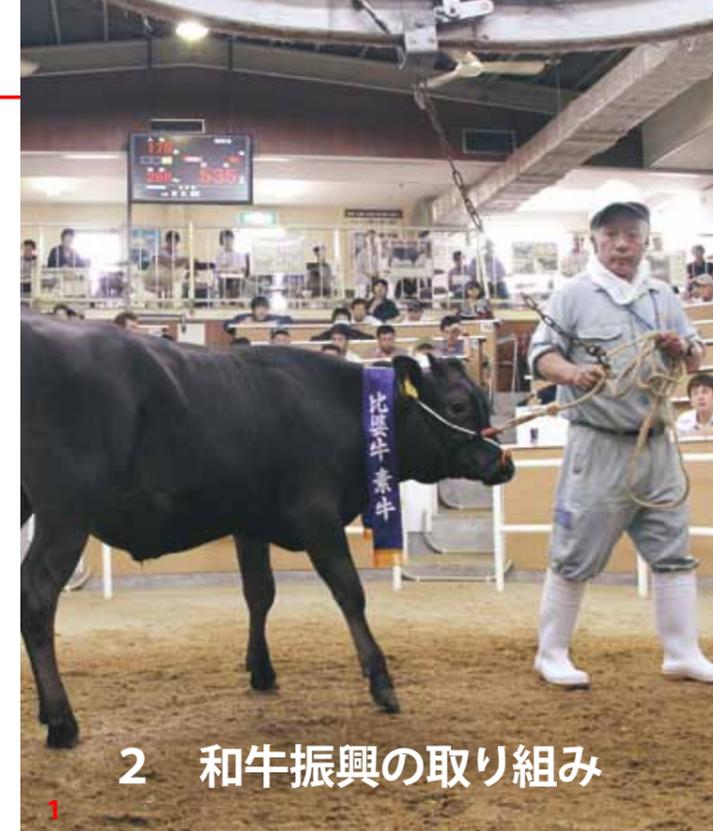
しかし、国産材の需要減少や原木価格が低迷する中で、伐採時期の延期や手入れの遅れに悩んでいる森林が増えるなど、林業を取り巻く状況は依然として厳しいものがあります。こうした状況の中、森林資源をより効率的に供給する基盤づくりとして、広島県、市、森林組合が連携し、路網の整備や団地化による一体的な森林整備などを進めてきました。一方、手入れの遅れている森林を整備するため、平成19年度から「ひろしまの森づくり事業」により、スギやヒノキの間伐、集落に隣接する里山林や竹林の手入れを実施。毎年約300畝の森林が市内各地で整備されています。

山林資源を有効活用
山本来の姿に戻すには、木材の有効利用も欠かせません。
市は公共建築物の木造化・木質化を進め、庄原中学校や東城小学校、庄原・高野保育所、道の駅たかのなどの建物には、庄原市産材が使用されています。
また、平成22年4月に稼働した「森のペレット工場」で製造された木質ペレットが、市内14の公共施設に導入されたペレットボイラーの燃料として使用されており、庄原市産材を生かしたエネルギーの地産地消も進んでいます。
昨年からは、新たな動きとして、市民の皆さんが間伐材などを「木の駅」に運び出し、地域通貨による木材の買い取りと商店での利用で、資源活用と経済循環が生まれる「木の駅プロジェクト」が、東城地域で実施されています。
今後、森林の持つ環境保全の機能と効率的な木材生産の機能が十分に発揮されるよう、循環可能な森林づくりが求められます。



4

1_ 比婆牛素牛の初せりの様子 (H 26.7) / 2_ 比婆牛ブランドの和牛肉販売 (H 26.7 ~) / 3_ ひろしまの森づくり事業で市内各地の森林整備が進む (H 19.5 ~) / 4_ 東城木の駅プロジェクトスタート (H 26.8 ~)



2 和牛振興の取り組み

県内最大の和牛産地

和牛振興では、市や関係機関が協力し、技術的な支援に加え、継続的な飼養や増頭をめざした支援を行ってきました。

合併当時、市内の和牛繁殖農家は約480戸で、約1900頭の和牛が飼育されていましたが、現在では256戸、約1400頭となっています。全国的にも飼養者の高齢化などによる廃業が増加する中、5割近い戸数が減少した一方で、頭数は3割弱の減

比婆牛ブランドの復活

かつての比婆庄原地域は、日本最古の4大蔓牛のひとつ「岩倉蔓」をもとにした集团的・計画的な和牛改良が進められ、優秀な和牛の産地として広く知られていました。これらの和牛は「比婆牛」と呼ばれ、遠方から多くの畜産家が比婆牛を買い求めるた

少に留まっており、県内最大の和牛産地の座を維持していません。

めにこの地を訪れたそうです。「比婆牛」はこうして全国に広がり、日本の和牛改良に大きな貢献を果たしています。

昭和30年代に入り、和牛の役割が農耕用から肉用に転換されてからも、「比婆牛」は、但馬の牛との計画的な交配を行うことで、大幅にその資質を向上させました。

その後、昭和61年に広島県内で統一した種牛づくりが始まり、以降、県産和牛肉のブランド名称も「広島牛」が用いられるようになりました。

しかし、近年では、広島牛の全国的な知名度は失われつつあり、また全国的にも和牛血統の似通いが急激に進んだことから、地域の伝統・歴史を受け継ぐ特徴のある和牛づくりが強く求められるようになりました。

こうした状況の中、地域の特色を生かした和牛振興に向け、産地庄原の新たな挑戦が始まりました。

関係者の協力により、昨年7月にブランド振興組織「あづま蔓振興会」が設立し、和牛肉「比婆牛」ブランドの認証・販売に取り組んでいます。「比婆牛」は、「岩倉蔓」を祖に改良されてきた歴史・伝

統を受け継ぐ和牛肉で、取り扱い店舗での売り上げも増加するなど、各方面から大きな反響を呼んでいます。
あわせて、供給頭数の増加に向けた支援や、ブランド和牛の生産基盤となる母牛群の増頭対策を強化しており、県内最大の和牛産地である庄原を次世代へ伝承できる基盤の確立をめざし、着実に取り組みを進めています。



2

庄原和牛改良組合 副組合長 (あづま蔓振興会事業推進委員長) 木村英宗 さん



これまで子牛価格の低迷が続き、畜産業界も厳しい状況にありましたが、比婆牛ブランドの取り組みによって、盛り返してきたと感じています。この取り組みで、子牛の市場価格が上昇に転じ、現在、比婆牛の子牛価格は安定しています。
また、食に対する安全が求められる中で、消費者も地産地消という地元志向が強まり、比婆牛の安全性の評価につながっている部分もあると思います。
こうした評価の中で比婆牛への期待は高まっていますし、生産者の意欲は上がっていると思います。実際に比婆牛素牛は着実に増えてきています。
しかしながら、供給の面では需要に追いついていない現状があります。数を少しずつ増やしていくことを目標に掲げながら、こうした比婆牛への関心が高まっている今、比婆牛を含めた和牛振興の取り組みを、関係機関が一丸となって進めていく必要があると思います。

東城木の駅実行委員会 委員長 表良則 さん



木の駅プロジェクトも昨年8月のスタートから1年が経ちましたが、手応えを感じています。
スタート以来順調に進み、出荷登録者数も昨年のスタート時より20人増えて91人、今年も600トンの計画のうちすでに約260トンが出荷され、このままいけば目標の600トンを超える予想しています。
また、加盟店舗も設立当初の59店舗から78店舗が増え、この事業に参加するメリットを感じていただいています。ぜひこの取り組みが、市内全体へ広がりを持つような、そういった方向に向けてほしいという思いがあります。
そのためにはリーダー役が必要だと思います。東城地域では、この取り組みをスタートする際に7つの自治振興区と一緒に取り組んだことが強みになりましたので、自治振興区はその役割を担えると思います。振興区で進めることで、より事業の浸透も図られていくと思いますし、市の支援も受けやすくなると思います。



被爆体験記を朗読して10年
口和本の会

左から岩瀧朋子さん、花本弘子さん、川崎弘子さん

核の惨禍と戦争の悲惨さを後世に確実に伝えるために語り続けます

「被爆で本当に苦しんだ方は、あの体験を語るうにも胸が詰まり、とても語ることもできないんです。そういった方々の声にならない言葉を、私たちが伝えていかなければいけません。そういった強い思いで活動してきた3人。今、危機感を募らせていることがあります。それは、戦



6月30日、東城文化ホールで行われた被爆ピアノコンサートに招かれ朗読する口和本の会の皆さん。

「子どもの頃になかなか理解ができなくても、私たちが伝えたいことが何だったのかを成長したときに感じてくれればと思います。微力ですができる限り続けていきたいと思えます。核兵器の非人間性と戦争の悲惨さを後世に確実に伝えるために。」

語り継ぐ 人たちがいます



中学生らしき男の子は、ちぎれた片腕を抱き、体中やけどだらけで梶本さんの前で力尽きたそうです。写真に合わせて、ゆっくりと丁寧な語り口で来場者を引き込む藤本さん。

「真に迫るお話は心に響くものでした。被爆の実情は少しずつ次世代に伝え継いでいかなければならないと思います。終了後のアンケートでは「真に迫るお話は心に響くものでした。被爆の実情は少しずつ次世代に伝え継いでいかなければならないと思います。」

「子どもが関心を持つことが何より大切だと藤本さんは呼びかけます。「これからは生きる若い人に、戦争も核兵器もない平和な世の中を生きていってほしいと心から願っています。そのため私たちが

特集

70年目の夏

～あの日の実相を伝え継ぐ～

被爆・終戦から70年。生きながらえた人は、夏が来るたびに地獄のようだった当時のことを思い出すといます。戦争・被爆の苦しみは今も消えません。世界では今もなお多くの紛争が起き、多くの尊い命が失われています。この節目に、改めて命と平和の尊さについて考えます。

「8月6日8時15分、広島市に原子爆弾が投下され、町は一瞬にして破壊されました」。スクリーンに映し出された「きのこ雲」のストライド写真の前に、藤本敏恵さんは静かに語りだしました。兄、叔母を原爆で亡くし、両親も被爆している藤本さん。高校生の頃から「被爆二世」を自覚し始めたといいますが、藤本さんは導かれるように、広島平和記念資料館で解説などを行うピースボランティアなどの活動にも関わるようになりまし。

「この活動を通じて感じていることが、言葉で伝えることの難しさです。瓦の下敷きになった人々がいた」と説明しても、瓦がどんなものか分からないという子どもが増えていること、そして、音やにおい、声などは言葉では表現しきれないのだといっています。それでも藤本さんは、声で伝えるということが重要だと考えています。「難しいことですが、相手の顔を見て声で伝えることで、心に響くものがあると思います。」

「その思いがこの日の語りにも表れています。「町の至る所からたくさんの方が逃げてきました。その中で見かけた一人一人が関心を持ってほしい。そして自分のできる方法で平和を訴える声を広めてほしい。」

日本の総人口約1億2707万人のうち70歳以上の方は約2383万人（平成26年9月15日現在・総務省報道資料）、割合にして18.7%です。単純に見て、日本人の約8割が戦争を知らない計算になります。戦時を知る人が刻一刻と少なくなっていくなか、戦争・被爆体験を語り継ぐことが大きな課題となっています。私たちにできることは、どんなことでしょうか。

藤本敏恵さん

プロフィール
1948年生まれ。北広島町出身。兄と叔母を原爆で亡くし、両親も被爆。平和祈念資料館を訪れる人々へ展示資料の解説などを行う、ピースボランティアの活動を経て、本年4月から被爆体験の伝承活動を開始。被爆者の梶本淑子さんの被爆体験と反核平和の意志を伝えるため、日々精力的な活動を行っている。



今、被爆者団体は岐路に立たされています。高齢化と会員減少によって、組織維持ができなくなってきたからです。

今年で結成59年目を迎えた西城町原爆被爆者友の会。結成した昭和31年当時、会員は約450人いましたが、今年102人にまで減少しました。思うような活動ができず負担も増すばかりの現状に、これ以上は限界と判断した同会は、本年7月16日の総会で解散することを決めました。

会長の竹下敦さんは「解散の危機は以前からありましたが、被爆70年までは頑張ろうとやってきました。全国にある被爆者団体の存続も時間の問題です。実際に活動できて



7月16日に行われた西城町原爆被爆者友の会の最後の総会。多くの報道機関が取材に訪れ、解散を報じた。

平和への
思いをつなぐ

いるのは広島と長崎しかない状況。残念でならない」と声を震わせます。「戦争の悲惨さ、原爆の恐ろしさを伝える責任がある」と語り、活動を続けてきた竹下さんも84歳。かつてのような元気はなくなったと言います。

しかし、被爆体験を語り継がないといけないという思いは今も変わりがありません。副会長の下田一三さんも「精神的にも肉体的にも苦しんで生きてきたなかで、70年本当によく生きたと自分でも思う。解散は寂しいが、会がなくなっても核兵器は絶対な



たけした・あつし
竹下 敦さん

くすという思いでこれからも活動してきたい。平和のために力を尽くしたい」と目を潤ませます。

そうした思いの中で同会は、解散前の最後の取り組みとして、同会が昭和55年に発行していた被爆体験記「夾竹桃」を復刻させました。

「1人でも多くの人に被爆の実態を知ってもらえるきっかけになれば」と強く願っています。



復刻した被爆体験記「夾竹桃」。西城支所・市立図書館で見ることができる



竹下さんの話を真剣に聞く児童の皆さん

美 古登小学校の4年生が7月14日、竹下さんから被爆体験を聞きました。8月6日の登校日には、児童会が主催して、自分たちの学びをお互いに伝え合ったり、折鶴を折ったりして、平和に対する思いを重ねています。



美古登小学校 校長 和田眞理子さん

4年生の国語科の教材「一つの花」の授業では、教材文の読み取りと読書を並行し、平和に対する思いを広げるよう取り組みました。また、学校生活の中では、友達の気持ちに寄り添い、思いや悩みに気づいたり共有したりしてみんなで解決していくことが平和への第一歩と考えます。実体験に基づく今回のお話は、子どもたちにとって、平和の尊さや家族・友達・古里への愛を実感する貴重な機会となりました。



平田陸人くん（4年）

今でも世界では、内戦などで関係のない人たちがたくさん犠牲になっています。今回の話を聞いて、被爆された人は自分たちが思った以上に平和への思いが強いことが分かりました。戦争はしてはいけない、平和はとても大切なものだと思えました。

語り継ぐ 走り継ぐ ヒロシマの心
反核平和の火リレー



原子爆弾が投下された唯一の国ニッポン。ヒロシマ、ナガサキの体験を風化させてはならない。核のない平和な社会実現のために昭和57年（1982年）から始まった「反核平和の火リレー」。平和公園に燃え続ける「平和の灯」をトーチにともし、毎年県内全市町を多くの人が走り継いでいます。今年7月1日〜24日にかけて行われ、13日・14日には庄原市内を通過。この2日間市内56区間を94人で走り継ぎました。

Interview

佐々木伸行さん
(備北交通株式会社)



戦後70年という節目の年ということで、自分たちができることから始めていくという思いのもと走りました。数多くのランナーが広島県全域を巡っていて、その1人として走れたことがうれしいです。反戦反核を願って次のランナーにトーチを渡しました。

實藤宏二さん
(社会福祉法人さくら学園)



若い世代がヒロシマの思いや被爆の歴史をもっと多くの人につなげていけたらという気持ちで走りました。トーチを渡すときに、みんなでつないでいるんだという気持ちになりました。僕は戦時の当事者ではありませんが、そういった歴史を知り、つなげていく責任があると思います。

福本敬夫さん

広島県青年女性平和友好祭
庄原地区実行委員会 委員長



現在も全世界で1万発以上の核弾頭があるとされています。もし、この核が使われたら何が起きるのか想像してみてください。そのことを知ってもらおう、そしてみんなに考えてもらうことが大切だと思っています。私たちの取り組みは小さいものですが、核廃絶に向けてこれからも継続して取り組んでいきます。

作者 中沢啓治さんの妻
ミサヨさんからメッセージ

原爆、そして戦争というものは言葉で伝えること、そして言葉を聴いて理解することは難しいものだと思います。ましてや子どもたちに言葉で伝えたとしても、その悲惨さ、恐ろしさはなかなか理解できるものではないと思います。

そんな中、夫は皆が知らなかった原爆の恐ろしさ、悲惨さを言うなれば漫画の1コマで表現しました。子どもから大人までひと目見て理解できる戦争の恐ろしさを描くのが夫の生涯の目的だったので、この漫画が描けて本当によかったと語っていました。

はだしのゲンは約40年近くの間、たくさんの世代に読まれています。これからも、はだしのゲンを通じて戦争の悲惨さ、恐ろしさが子どもたちに伝わり、平和な世界をつくることのできる若者が育ってくれることを願っています。



戦争の悲惨さと
原爆の恐ろしさを伝える
漫画
はだしのゲン

はだしのゲンの一場面
(原画の写し)



戦没者への追悼 平和への願い

庄原市は、戦没者の慰霊と恒久平和の願いを込めた式典を毎月8月に開催しています。この式典では、歴史認識や平和学習の機会を多くの人に広く提供したいという思いから、小学生による平和の歌の合唱や学生による吹奏楽の演奏などを行っています。

今年合唱するのは口北小学校の全校児童39人。5月中旬ごろから練習を積み重ねています。披露する曲は「ふるさと」と「小さな勇氣」の2曲。平和を願い、気持ちをひとつに心を込めて歌います。



郷土を愛する心が世界平和を願う心を育む 東城小学校が取り組んだ「世界一大きな絵」

皆さんは、2020年開催の東京オリンピックで掲げられるという「世界一大きな絵」を制作するプロジェクトをご存知でしょうか。このプロジェクトは、世界

の子どもたちが国や宗教・人種を越えて一枚の「世界一大きな絵」を完成させることで、共通の喜びを分かち合い、世界平和に対する意識を育てることを目的に進められている

取り組みで、庄原市からは東城小学校が唯一参加しています。絵の題材にしたのは、東城の伝統行事「お通り」。6年生が案を出し合って決めました。図柄は5枚の布を縫い合わせた5メートル四方の布に、母衣を身に付けた少女を大きく描き、周囲には東城の四季や雄橋などを配置しています。作成には全校児童257人が関わり、母衣はみんなの手形をつけて表現しています。約2カ月かけて完成させました。

「平和というテーマは大きいですが、まずは自分たちの地域を愛する気持ちが大切です。東城を象徴するお通りが、子どもたちの郷土を愛する気持ちに結び付いていて、完成した絵からもその気持ちが伝わってきます」と話すのは西田早苗校長。絵を縫い合わせる作業では6年生の保護者の協力もあり、「この取り組みでみんながひとつになれた」と喜びます。

絵は、このプロジェクトを進めているNPO法人アイ・アイデンティティ・プロジェクト(東京都)に送られた後、8月10日に広島グリーンアリーナで披露されます。そして2020年までに、さらに多くの絵をつなぎ合わせて完成させ、東京オリンピックで披露されます。



児童一人一人の手形で母衣を描く。布の縫合は6年生の保護者が協力した。

Interview



東城小学校 校長 西田早苗さん
お通りという伝統行事が続いているのは、平和だからこそ。そのことを子どもたちにも伝えていきます。お通りが続くことで平和が広がっていく。平和というテーマは大きいですが、子どもたちは地域を愛する気持ちで取り組んでくれました。



東城小学校 児童会長 高浦好花さん(6年)
世界中の人に東城という小さな町を知ってもらいたい。お通りがずっと続いているように、世界も平和になってほしいです。

平成27年度 庄原市戦没者追悼式並びに平和祈念式典

本市の戦没者に哀悼の意を表すとともに、再び戦争の惨禍を繰り返すことのないよう、恒久平和を祈念するため、庄原市戦没者追悼式並びに平和祈念式典を開催します。

多くの皆さんの参加をお願いします。(申し込みは不要です。)

とき：8月21日(金)10時～

ところ：庄原市民会館

※当日は要約筆記による案内に加え、イントラネットでの中継も行いますので、各学校、自治振興センターなどでもご覧になれます。

※各支所から送迎バスを運行します。利用希望の方は8月13日(木)までに各支所に申し込んでください。(定員に限りがありますので、ご希望に添えない場合はご了承ください。)

【問い合わせ】

社会福祉課障害者福祉係 ☎ 0824-73-1210

各支所市民生活室

※8月31日(月)～9月4日(金)市役所市民ホールで、恒久平和を祈念して、「折鶴」や「戦時中の写真などの資料」などを展示します。市役所へお越しの際はぜひご覧ください。



口北小学校 児童会長 熊谷優花さん(6年)

自分たちの歌で平和になることを願い、練習を重ねています。当日は私たちの気持ちが届くように、心を込めて歌いたいと思います。



口北小学校 校長 久保真理子さん

小さな学校ということもあり、大きい舞台で披露することが少ないので、子どもたちにはいい経験になると思います。こうした機会に参加することで、一人一人が平和について考えるきっかけになると思います。



庄原市戦没者遺族会 会長 井澤聖昭さん

あの戦争から70年。この間日本が平和だったのは、戦争の犠牲となった人がいるおかげであることを忘れないでください。そして、戦後、犠牲者の意志を継ぎ、必死に日本のために尽くしてきた人のことも忘れてはいけません。

戦没者追悼式では多くの年代の方々が参加できる式典を開催する予定です。平和の尊さを認識するためにも、ぜひ式典に参加してください。



民泊型修学旅行の誘致を推進

商工観光課にぎわい観光係 ☎0824-73-1179

民泊受け入れ家庭募集！
普及研修会開催！
—民泊とは何か？受け入れのノウハウについて学ぶ—

民泊型修学旅行の誘致による地域活性化を目指す「庄原市さとやま体験交流協議会」では、平成29年度からの本格的な民泊型修学旅行の受け入れに向け、民泊の概要や実際の受け入れ手順について学べる講座を開催します。
講師は、体験型教育旅行の第一人者の藤澤安良さんです。楽しいお話が聞けますので、民泊についてよく分からないと

いう方もぜひ講座を受講してください。また、現在民泊受け入れ家庭を募集しています。平成26年度末で、民泊受け入れ家庭の登録数は112軒となりましたが、十分ではありません。本年度の目標登録軒数を165軒とし、取り組みの輪を広げていきます。今後、説明会などを開催しますので、ぜひご参加ください。

民泊普及研修

とき／9月18日(金)
■昼の部 14時～16時
会場／庄原市ふれあいセンター
■夜の部 19時～21時
会場／比和自治振興センター

民泊実践研修

とき／9月19日(土)
会場／市内民泊家庭
■午前の部 10時～12時
■午後の部 14時30分～16時30分
※会場は、申し込みがあった方に別途ご連絡します。

申し込み方法 電話・ファックスまたはメールで、住所・名前・電話番号・参加講座名を9月3日(木)までに事務局へご連絡ください。

問い合わせ 庄原市さとやま体験交流協議会事務局(庄原市観光協会)
☎0824・75・0173
FAX0824・75・0172
メール kanko@shobara.net

花と緑で 笑顔あふれるまちに

商工観光課にぎわい観光係
☎0824-73-1179

花と緑のまちづくりを推進

庄原市には、広大な花畑を有する国営備北丘陵公園や、個人庭を期間限定で公開するオーブンガーデン、国定公園などに群生する貴重な山野草など、花や緑の観光資源が豊富にあります。庄原観光いちばん協議会では、これらの強みを生かした観光交流人口の増加を目指し、昨年度から花と緑のまちづくり事業を進めています。本年度は、「花と緑のまち・庄原」を



広くPRする「庄原さとやまガーデンフェスティバル」や、店先や店内に花と緑を増やす「ガーデニングセミナー」など、市民参加型のイベントを開催します。皆さんのご参加をお待ちしています。

※庄原観光いちばん協議会とは、平成25年に策定された庄原市観光振興計画をオール庄原で進め、地域の活力を創出するため設立された組織。観光振興事業の連携を図るほか、専門部会を設置し、花と緑のまちづくり事業や庄原市の逸品事業などに取り組む。

現況届を忘れずに！

児童扶養手当・特別児童扶養手当

現在、児童扶養手当や特別児童扶養手当を受けている方(所得制限で受けていない方を含む)は、必要書類や印鑑などを持って、受付期間中に児童福祉課または各支所市民生活室で現況届の手続きを行ってください。

受け付け期間
○児童扶養手当
8月31日(月)まで
○特別児童扶養手当
8月11日(火)～9月10日(木)
※該当する方には、別途案内を送付します。

受け付け窓口・問い合わせ
児童福祉課児童福祉係
☎0824・73・1192
各支所市民生活室
(西城支所は、しあわせ館内)

受給資格

◎児童扶養手当

母親または父親のみで養育しているひとり親家庭、あるいは父または母に代わってその子どもを養育している方に支給。児童の対象年齢は、18歳に達した年の年度末まで。ただし、児童に中度以上の障害がある場合は20歳まで。

◎特別児童扶養手当

精神または身体に障害のある20歳未満の児童を養育している方に支給。



※いずれも所得制限があります。※該当すると思われる方は、お問い合わせください。

ガーデニングセミナー受講者募集！

「店舗をガーデニングで飾ろう」
「プランターの寄せ植えに挑戦」



市内の店舗事業者を対象に、寄せ植え講座を開催します。店舗内や周辺をガーデニングで飾りませんか。参加料も1000円と低価格です。店先から「花と緑のまち・庄原」をPRしましょう。※作成した鉢は、各自で持ち帰ります。

講師 齊木義伸さん
とき 9月9日(木)
昼の部14時～ 夜の部18時30分
ところ 国営備北丘陵公園エントランスセンター

《募集内容》
対象者 市内の店舗事業者(個人・団体問わず)
参加料 1人1000円(入園料・材料費含む)
申し込み方法 電話またはメールで住所・名前・電話番号・参加講座名を8月20日(木)までに事務局へご連絡ください。

シヨールガーデンコンテスト出展者募集！

とき 10月3日(土)・4日(日)
ところ 国営備北丘陵公園内

「山陰・山陽花めぐりガーデンシヨール」

《募集内容》

市内外の観光施設や一般の出展者によるシヨールガーデンを展示し、来場者参加型のコンテストを同時に行います。コンテスト入賞者には賞金、投票者にも抽選で景品が当たるチャンスあり！観て、参加して楽しめるイベントです。

対象者 市内外の個人・団体・企業
出展作品 シヨールガーデン(縦1.8m×横1.8m×奥行1.8m)
出展者補助 出展1作品ごとに3万円
表彰 ゴールドメダル・石原和幸賞など、最高賞金額6万円
申し込み方法 申し込み用紙に必要事項を記入し、9月3日(木)までに事務局に提出してください。

問い合わせ 庄原観光いちばん協議会 花と緑のまちづくり部会(事務局:庄原市商工観光課にぎわい観光係)



原動機付自転車などの オリジナル ナンバープレート デザイン決定

庄原市制施行10周年を記念して、市が交付する原動機付自転車などのナンバープレートのオリジナルデザインを募集したところ、総数で169作品の応募がありました。たくさんのご応募、ありがとうございました。

選考委員会の選考により最優秀賞（採用作品）1点、優秀賞2点が決定しました。

●最優秀賞（採用作品）
伊藤ひかりさん（倉敷市在住）の作品



プレートデザインのモチーフは「上野公園」
作品のテーマは「私のふるさと」
上野池・弁天橋・桜を配置

オリジナルナンバープレートの交付

10月13日（火）から、税務課および各支所市民生活室で交付を開始します。

登録済みの車両も交換ができます。

○対象車種・交付枚数

- (1) 原付バイク（50cc以下） 200枚
- (2) 農耕用作業車 100枚

○交付（登録または交換）に必要なもの

- (1) 所有者および届出者の印鑑
- (2) 車両情報（車名、車体番号、排気量、型式）
- ・交付する標識番号の指定はできません。
- ・新規登録車両の場合は、従来のナンバープレートと選択できます。（その後の交換はできません）
- ・登録済み車両の場合は1回のみ交換できます。
- ・オリジナルナンバープレートへ交換する場合、標識番号が変わり、自賠責保険などの変更手続きが必要となることがあります。詳しくは、加入している保険会社などへお問い合わせください。

問い合わせ

税務課資産税係 ☎0824-73-1144

●**申込受付期間**
8月10日（月）～9月14日（月）
郵送の場合は9月14日（月）消印有効

●**試験の方法**
試験は第1次試験～第3次試験とし、第2次試験以降は第1次試験の合格者で行います。

【第1次試験】
試験日 10月18日（日）7時45分受付開始
試験会場 庄原市ふれあいセンター
（庄原市西本町四丁目5番26号）
試験科目 教養試験、事務適性検査、作文試験、専門試験（技術職（土木のみ））
【第2次試験】
試験日 11月中旬

●**試験内容** 集団討論試験
※第2次試験の詳細は、第1次試験合格通知などでお知らせします。

【第3次試験】
試験日 12月上旬
試験内容 個別面接試験
※第3次試験の詳細は、第2次試験合格通知などでお知らせします。

●**採用予定年月日**
平成28年4月1日採用予定

●**問い合わせ** 総務課人事秘書係
☎0824-73-1125
※詳しくは、「平成27年度庄原市職員採用試験案内」をご覧ください。

井上 真里
一般事務職

総務課行政係
予算・庶務・自衛官募集業務担当
平成15年4月採用

仕事紹介
主に総務課の予算管理など庶務事務や、自衛官募集に関する事務を行っています。今年は、庄原市制施行10周年に当たり、10月11日に開催する記念式典と庄原いちばん10th フェスティバル、その他補助金に関する事務なども担当しています。また、総務課は代表電話を各課へつなぐ役割もあるため、明るく、分かりやすく、すばやい対応ができるよう心がけています。

受験する人へ一言

職員となり十数年経ちますが、毎日が勉強です。『まち・地域づくり』とは関係なさそうな部署でも、必ず『まち・地域づくり』につながっていると実感しています。庄原市は自然豊かで地域行事も活発、楽しい発見ができますので、ぜひ一緒に働きましょう！

●**申込手続**
①**試験案内・申込書の入手方法**
①配布場所
総務課人事秘書係、各支所総務室
②インターネットの利用
市ホームページ（http://www.city.shobara.hiroshima.jp）に掲載中の試験案内から印刷してください。
③郵送による請求
庄原市総務課人事秘書係（〒727-8501 庄原市中本町一丁目10番1

号）宛に返信用封筒を同封してご請求ください。
・総務課人事秘書係宛の封筒の表には「試験資料請求」と朱書きしてください。
・返信用封筒（角形2号・縦33・2cm×横24cm）に宛先を明記し、120円切手を貼ってください。
②**提出書類**
申込書に必要事項を記入し、添付書類と併せて総務課人事秘書係へ提出してください。

坂本 望
技術職(土木)

下水道課下水道係
処理場維持管理業務担当
平成19年4月採用

仕事紹介
庄原市に複数箇所ある汚水処理場と中継ポンプ、汚水管渠（水路）の維持管理のほか、管渠の新設や宅内排水設備の審査・検査などの業務を行っています。老朽化した下水管の保全にかかる業務や、個人宅の汚水接続など、ライフラインに直結した仕事でもあることから、処理ができて「当たり前」の施設を「当たり前」に維持管理することの難しさを日々感じながら仕事をしています。

受験する人へ一言

「身近な誰か」の役に立てる土木を実践・体感できるのは、市役所職員だと思います。皆さんの学んできた知識や技術力を庄原市で生かしてみませんか？豊かな自然と、温かな人に囲まれた庄原市で、お待ちしております。

庄原市職員募集

●市は次のような職員を求めています。

市民起点	自治振興区などを通じた地域活動に積極的に参画し、市民との協働に努める職員	経営感覚	組織のミッションを理解し、それを実現するための最善の方法を導き出せる職員	自律と創造	失敗を恐れずに新たな課題に果敢に挑戦していく職員
-------------	--------------------------------------	-------------	--------------------------------------	--------------	--------------------------

●採用職種、採用予定人員および応募資格

職種	採用予定人員	応募資格（※）
一般事務職	若干名	昭和63年4月2日から平成10年4月1日までに生まれた人
技術職(土木)	若干名	昭和63年4月2日以降に生まれた人で、管理栄養士の資格を有する人
管理栄養士(事務職)	若干名	昭和63年4月2日以降に生まれた人で、管理栄養士の資格を有する人
保育士	若干名	平成2年4月2日以降に生まれた人で、保育士の資格を有する人 または平成28年3月31日までにこの資格を取得する見込みの人

※1受験者につき1職種しか受験できません。
※保育士職種は資格を取得する見込みの人も応募できますが、表中に記載する日までに資格を取得することができない場合は、正式採用される資格を失います。

荒木 和
保育士

山内保育所
保育業務担当
平成12年4月採用

仕事紹介
園児の食事・排泄・睡眠・衣服の着脱などのお世話をし、基本的な生活習慣が身に付くよう自立に向けたサポートや、発達段階に適した遊び（教育）を日々の保育に取り入れ、心と体の発達を促しています。月々の行事では、伝統行事の雰囲気や季節を感じながら、異年齢の交流はもちろん、保護者・地域・小学校との交流が深まるような楽しい内容を企画し進めています。

受験する人へ一言

自然豊かな庄原市で、温かい地域の方に見守っていただきながら、自分の経験・知識・得意なことを、私たちと一緒に保育の現場で発揮してみましよう♡

職場レポート／庄原市の未来を一緒に作りましょう！

国勢調査 2015

いよいよ9月から国勢調査が始まります。この調査は、日本に住む全ての人を対象とした調査であり、国の最も重要な調査です。調査結果は、企業や店舗、地方公共団体などのほか、さまざまな機関で活用されます。これからの私たちの生活に大きく関わる大切な調査です。



国勢調査は、日本の未来をつくるために必要な、大切な調査です。



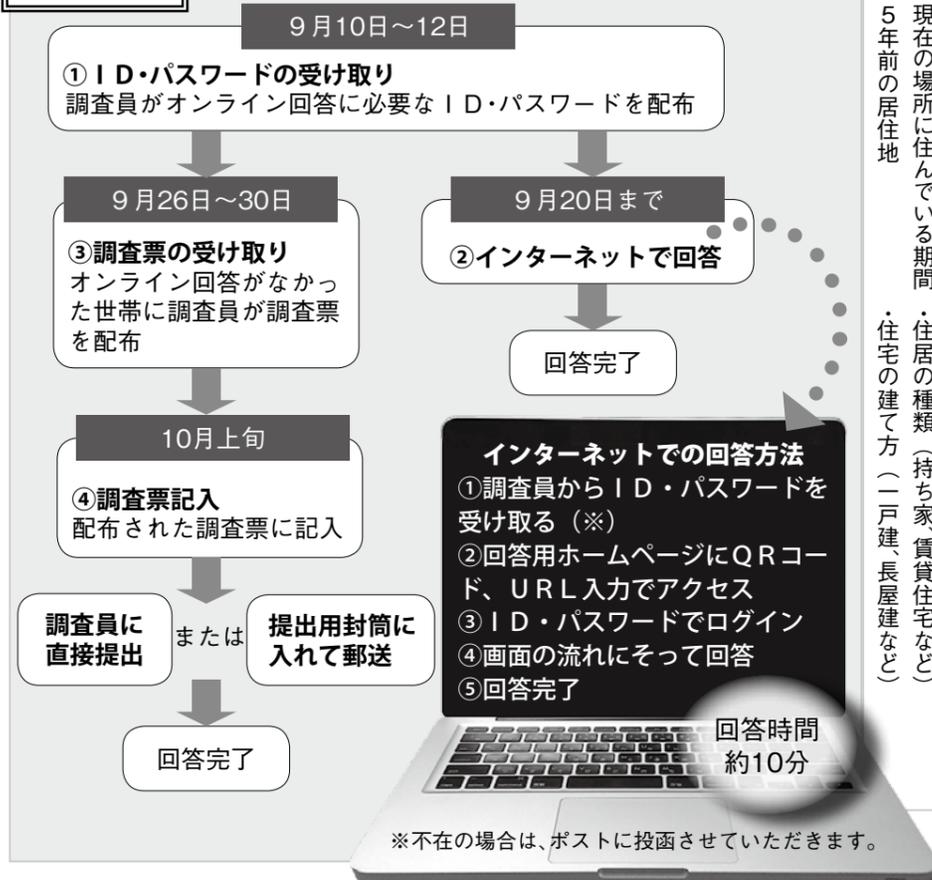
問い合わせ
情報政策課情報政策係
0824・73・1113

調査項目が変わりました
前回(平成22年)の国勢調査では、「世帯員に関する事項」15項目、「世帯に関する事項」5項目の計20項目の調査項目がありました。
しかし、今回の調査では、「教育」「住宅の床面積の合計」「一週間の仕事状況」の項目が削除され、「世帯員に関する事項」13項目、「世帯に関する事項」4項目の計17項目となりました。(下記)

スムーズな回答が行えるよう、世帯員の生年月日、就業状況や住宅について把握しておきましょう。

オンライン調査が始まります
今年の国勢調査から「オンライン調査」が開始されます。従来の用紙による調査に加え、オンラインでも回答できるようになります。
オンライン調査は、パソコン・スマートフォンから、その場で簡単に回答・提出ができるため、回答時間・期間ともに大幅に短縮でき、郵送・手渡しによる提出の手間がなくなることから、普段家を空けることが多い世帯でも容易に回答することができます。
オンライン調査で回答がなかった世帯は、従来どおり用紙に記入して回答いただくこととなります。

調査の流れ



- 調査項目**
- 【世帯員に関する項目】13項目
- ・氏名
 - ・男女の別
 - ・出生の年月
 - ・世帯主との続柄
 - ・配偶者の有無
 - ・国籍
 - ・現在の場所に住んでいる期間
 - ・5年前の居住地
- 【世帯に関する項目】4項目
- ・就業状態
 - ・所属の事業所の名称および事業の内容(産業)
 - ・仕事の種類(勤め、自営など)
 - ・従業上の地位
 - ・従業地または通学地
- 【世帯に関する項目】4項目
- ・世帯の種類(一般世帯、寮生、入院者、入所者など)
 - ・世帯員の数
 - ・住居の種類(持ち家、賃貸住宅など)
 - ・住宅の建て方(一戸建、長屋建など)

庄原市斎場再編整備計画 vol.4

市民生活課市民生活係 ☎ 0824-73-1154



● 庄原市斎場の基本設計が完了しました

現在、庄原市には7カ所の斎場を設置しています。しかし、年々老朽化が進み、特に庄原市斎場(一木町)は昭和50年度に建築後、40年が経過しています。こうした状況から市は、市内の斎場を統合し、市民

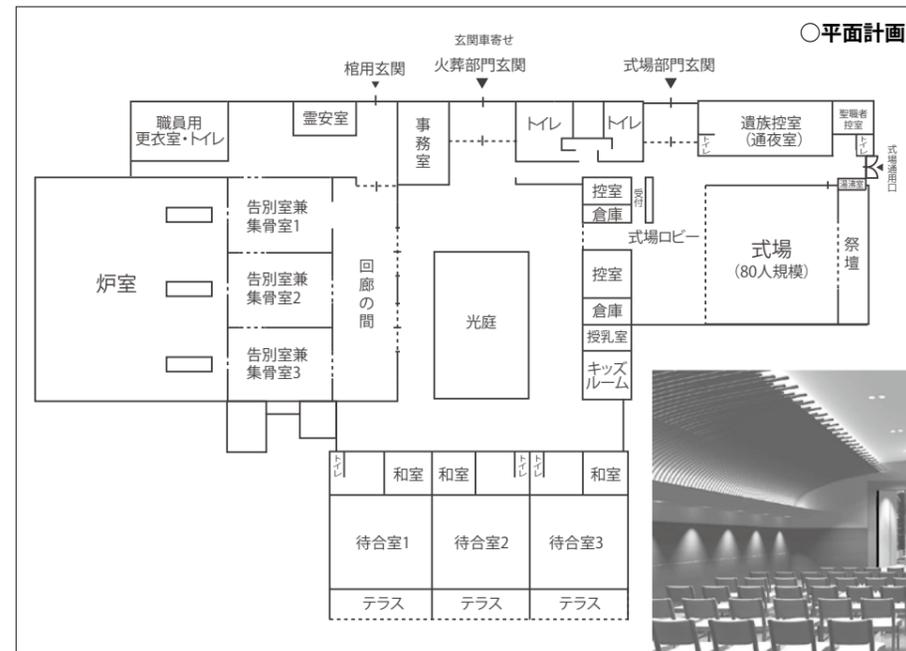
のニーズに合ったより良い施設を整備するため、庄原市斎場再編整備計画を平成26年7月に策定しました。庄原市斎場については、本計画を基に平成30年度中の完成を目指し、現在地での建替えを進めています。

施設概要

新しい庄原市斎場は、火葬部門、待合部門、式場部門で構成されます。火葬を行うだけでなく、食事をしながら休憩できる待合室、通夜や葬儀を行うことができる式場を併設した一体型の施設を計画しています。



斎場という重々しい雰囲気を無くし、周囲の景観に配慮し、高さを抑えた計画としています。



今後のスケジュール

平成27年度 建物実施設計、地質調査、用地買収
平成28年度 造成工事
平成29年度～30年度 建物建築工事、火葬炉工事

今後、実施設計で内容が変更になる場合があります。実施設計が完成しましたら改めてお知らせします。

今月は「肢体不自由」

肢体不自由とは

上肢(腕や手)、下肢(脚)、体幹(筋肉を含む胴体)のまひや欠損などにより、日常生活動作や姿勢の維持などが不自由になる障害です。障害の部位や程度には個人差があります。

障害の原因はさまざまで、事故や病気によるもの、脳や脊髄などの神経の損傷によるもの、先天性の疾患によるもの、関節などの変形からなるものなどがあります。脳に損傷を受けた場合には、言葉の不自由さや記憶力の低下などを伴うこともあります。肢体不自由の中でも、脳性まひ、脊髄損傷、筋ジストロフィーなどで全身に障害が及ぶものを「全身性障害」といいます。

こんなことに困っています

○歩道や通路に、十分なスペースがなかったり、ちょっとした段差や障害物があったりするために移動できないことがあります。
○障害者用駐車場スペースが空いていないと車の乗降が難しい場合があります。
○手指や手・腕が無かったり、まひがあったりする人は、文字を書く、お金を扱うといった細かな手先の作業が難しい面があります。
○脊髄損傷の方には、感覚の低下や喪失、体温調整が困難な方がいます。

こんな配慮をお願いします。

○さりげなく声をかけ、どんな手助けが必要か気軽に尋ねてみましょう。障害の部位や程度により、困っていることは一人一人違います。望まれる方法で対応することが大切です。
○車イスに乗っている人の介助では動きが予測できるよう、事前に「動きまします」右に曲がります」などの声をかけましょう。
○必要な方以外は、障害者用駐車場スペースに駐車しないようにしましょう。
○言葉がうまく話せない人に対して、子どもに対処するような接し方をしないようにしましょう。また、聞き取りにくい場合は、わかったふりをせず、内容を確認しましょう。
○サポートには、「見守り」という間接的な対応もあります。その人のペースで、ゆつくりと対応しましょう。



庄原市に光がやってきました

その6

情報政策課情報政策係 ☎0824-7311113
広報広聴係 ☎0824-7311159

どうも何か忘れとる気がするんじゃが...



博士！住民告知端末使用申請書の提出ですよ！



住民告知端末を設置しましょう！

市は、市内全域に整備される光ファイバーの回線を活用して、市役所から緊急情報や行政情報をお知らせする告知放送を実施します。
現在、平成27年度に光ファイバーが整備されるエリア(広報しようばら6月号14ページの表参照)の住民・事業所などの皆さんには、説明会を開催するなどして、住民告知端末(放送を受信する機器)の設置をお願いします。

住民告知端末使用申請書の提出はお早めに！

住民告知端末の使用料は、市民の方がお住まいの家屋に設置される場合は無料です。(市内に所在する事業所・団体も同様)さらに、光ファイバーケーブルの引き込みや初期の設定などに必要な初期費用最大2万2800円も市が負担します。ただし、市が負担するのは、サービス開始から1年経過する日までに住民告知端末使用申請書を提出した場合となりますので、お忘れなく早めに提出をお願いします。
申請書は情報政策課・東城支所総務室で受け付けています。申請書がない方は、情報政策課・東城支所総務室にお越しください。

- 平成27年度のサービス開始時期
- 庄原電話交換局管内の整備エリア 10月下旬
- 東城電話交換局管内の整備エリア 11月下旬
- 山内電話交換局管内の整備エリア 12月下旬

安心・安全な毎日のために

庄原消防署 ☎0824-729911

花火は楽しく安全に！

子どもたちにとって夏の身近な風物詩「花火」。

しかし、気軽に楽しめる花火の原料は火薬であり、取扱い上の不注意から毎年事故が発生しています。火災や火傷などの事故が起こらないよう十分注意し、夏の楽しい思い出にしましょう。

- 1 花火に書いてある遊び方をよく読んで、必ず守りましょう。
- 2 花火を人や家に向けけない、燃えやすいものがある場所ではしないようにしましょう。特に、衣服に火がつかないように注意しましょう。
- 3 風の強い日は花火で遊ばないようにしましょう。
- 4 終わった花火は水バケツを用意して、完全に消火しましょう。
- 5 子どもだけでなく、大人と一緒に遊びましょう。

平成27年度 庄原市総合防災訓練を実施します

災害から住民の生命と財産を守るとともに、地域における自主防災体制の推進を図ることを目的に、平成27年度庄原市総合防災訓練を実施します。
訓練は、非常に強い台風の来襲により、庄原市で記録的短時間大雨が観測され、大規模な土砂災害が発生したと想定し、市、西城自治振興区、庄原市消防団をはじめ、各関係機関が協力して10種目の訓練を実施します。この訓練では、広島県防災ヘリコプターも飛来します。
皆さん、ぜひご参観ください。

とき 8月30日(日)
9時30分～12時(小雨決行)
※当日の気象状況などにより、中止される場合があります。
ところ 庄原市西城町大佐
西城球技場および周辺一帯



母子保健 だより

子どもの健診・相談

保健医療課健康推進係 ☎0824-7311255

お子さんの発育や発達で気になることはありませんか？

「体重が気になる」「抱きにくい」「体を動かすことが苦手」「よく転ぶ」「言葉がなかなか増えない」「落ち着きがないように思う」「子どもへの関わり方が知りたい」など、お子さんのことで心配していることや気になっていることはありますか。

早めに相談することで、発育や発達を促すヒントが見えてきます。
専門家が、子育てする上での困り事や不安なことの相談をお受けし、子どもへの関わり方のアドバイスなどを行っていただきます。
ひとりでも悩まず、早めにご相談ください。

談に応じています。

●**幼児健診**
6～8か月児健診、1歳6か月児健診、2歳児歯科健診、3歳児健診を行っています。

●**幼児健診事後相談**
心理相談員が発達の検査や育児の相談に応じます。

●**運動発達相談**
理学療法士が「赤ちゃんを抱きにくい」「転びやすい」「姿勢が悪い」などの相談に応じます。

●**5歳(年中児)相談**
心理相談員が、就学に向けて行動や言葉、友達との関わりなど気になっていることや心配なことの相談に応じます。

そのほか、訪問や電話相談にも応じます。母乳のこと、離乳食のこと、育児のことなど気軽に相談ください。

●**専門家の相談ってどんなものがあるの？**
●**育児相談**
毎月、各地域で育児相談を実施しています。保健師・助産師・栄養士が相

なごみま★ ジョット

やまもと
H27年1月15日生まれ
山本 瑛太くん (新庄町)



父：元気に生まれてきてくれてありがとう。これからも瑛太の成長を見守っています。

まつもと
H26年11月2日生まれ
松本 結衣ちゃん (大谷町)



父・母：心やさしくやかに、たくましくってね。

おかもと
H26年7月14日生まれ
岡本 涼輔くん (三日月町)



母：笑顔で皆を元気にしてくれる涼くん。これからも元気に育ってね。

たけだ
H24年10月6日生まれ
武田 華ちゃん (新庄町)



父・母：おしゃべりが大好きで笑顔のかわいい華ちゃん。これからも楽しいお話を聞かせてね。

お子さんの写真を載せてみませんか？
3歳までのお子さんの写真を募集しています。写真(データ可)に、名前(ふりがな)・生年月日・性別・連絡先・子どもへのメッセージを添えて、情報政策課または支所広報担当まで申し込んでください。郵送、メール(koho@city.shobara.lg.jp)でも受け付けます。

まちづくりを進める市民活動登録団体をご紹介します！

市は市内で活動している市民活動団体の登録制度をつくり広く公開しています。市民活動の充実、まちづくりの連携や協働を進めるため情報をお届けします。



特定非営利活動法人 資源をむだにしない生活を考える市民の会エコ燃料グループ

活動 エコ燃料の製造およびリサイクル事業の協働など
内容 廃食油を活用したバイオディーゼル燃料の製造活動により、庄原市が推進する資源のリサイクル事業と協働しています。

【問い合わせ】 事務局 ☎0824-72-5129

市民活動団体登録をしませんか？
市は随時、登録を希望する市民活動団体を募集しています。詳しくは、自治定住課自治まちづくり係 (☎0824-73-1209)まで。

かんぱれ！ スポーツ少年団

●高野少年野球

高野少年野球は、小学2年生から6年生までの男子19人が在籍し、週3回の練習を監督、コーチ、保護者一丸となって取り組んでいます。6月までの公式戦では、あと1勝が遠く悔しい思いをしましたが、夏から秋への大会は全力プレーで結果を出したいと思います。現在、練習試合を組んでいただけるチームを募集しています。気軽に声を掛けてください。よろしくお祈りします。連絡先：事務局 石原豊年 ☎0824-86-2484



にしのみ
西野 実さん(西城町)
西城町野菜生産協議会会長兼青ネギ部会部会長。西城町出身。41歳。仙台の大学で7年半勤め平成19年に帰郷。新しく建てた家の1階を作業場に、父のハウスで青ネギの栽培を始める。祖母、おじ、母、妻、子3人の8人家族。耕地面積は約50アール。

心強い周囲のサポート

スーパーなどで見るロゴ入りビニール袋のヒバゴンネギは、西城町野菜生産協議会青ネギ部会に所属する農家が、農協を通して出荷する土耕栽培のA品の青ネギです。たまに病気や害虫でB品が出ることもありますが、西野さんの青ネギのほとんどはA品です。「就農時、父の技術指導を先入観無く受けるために、本などでは勉強しませぬ

最後は、これからI・Uターン就農を考える人に伝えたいことを聞くと、「農業経営を始めるなら、しっかりと計画と準備が必要です。やる事が多く不安かもしれませんが、県やJA、地域の生産者などがサポートしてくれます。それに庄原市には頼りになる県の指導農業士の方々や、悩みを共有できるヤングファーマー(若手農業経営者団体)の皆さんがいます。役も回ってきますが、その分みんなで暮らしを支え合えるんですよ」と言われました。暮らしの維持は大変ですが、頼りになる先輩がたくさんいるようですね。



庄原市内のかがやくひとを紹介します

vol.2

必要十分の庄原暮らし

大学で7年半、毎日遅くまで働いていた西野さん。家族と一緒にいる時間が十分にありませんでした。そんな時、父が営んでいた青ネギ農家の規模を縮小しようという話を持ち上がりました。当時30歳過ぎだった西野さんは、「今ならまだ身体の無理もきく。農業を始めるとなれば若いうちが良い」と帰郷を決心。一番上の子がまだ小さく、転校など引越しの負担が少なかったことも決め手でした。

生活のための農業

帰郷して2年間は父の指導を受け、3年目からは完全に自分で切り盛りするようになりました。早寝早起きの生活ですが、今は家族との時間もたくさんとれ、子どもたちも豊かな自然と地域の見守りの中でのびのびと育っています。「西城に帰っても、上下水道もインターネットもあり、通販などを使えば買い物も特に困らない。前職より収入は減りましたが、生活費が安くすむため困っていません。ただ、飲み屋が少ないのが難点ですけどね」。



作業場には常時数人の作業員が出動している

管財課

建設会社と技術者の施工能力を評価 優良建設工事施工業者の認定、優良技術者の表彰



前列左から榎大歳組常務取締役黒谷武晴さん、木山市長(中)、中田建設代表取締役中田和克さん、榎大歳組取締役部長藤原由雄さん、後列左から、神宮祥司副市長、栗田誠司さん、鯨谷忠春さん、永田裕さん、松浦利幸さん、矢吹有司副市長

○優良認定業者および優良技術者(敬称略)

優良認定業者名	対象工事名	優良技術者名
榎大歳組(東本町)	庄原中学校グラウンド法面災害復旧工事	栗田 誠司
榎大歳組(東本町)	本村地区送配水管(1工区)布設工事	鯨谷 忠春
榎大歳組(東本町)	三十戸送水ポンプ所施設整備工事	黒谷 武晴
中田建設(春田町)	市道片山線道路改良工事	永田 裕
大和建设(七塚町)	市道熊野線道路改良工事	松浦 利幸

市は平成26年度に完成した市発注工事103件のうち、優れた工事施工により認定基準を満たした施工業者3社を「優良建設工事施工業者」として認定し、工事を担当した技術者5人を「優良技術者」として表彰しました。

この制度は、建設会社の技術力向上を目的として、市が発注する500万円以上の建設工事について、品質や出来栄え、安全対策など総合的に評価する「工事成績評定点」が82点以上(100点満点)の成績を取った工事の施工業者と技術者を認定・表彰するものです。

7月16日に市役所で開催した表彰式で木山耕三市長は「今後も他の業者の見本となり、高い技術力を社会資本の整備や維持管理に役立てていただきたい」と述べ、認定書と表彰状を手渡しました。

生涯学習課

卓球の世界チャンピオンに学ぶ 庄原市レベルアップスポーツ教室

レベルアップスポーツ教室としては初の卓球教室を6月27日、市総合体育館で開催し、市内小・中学生37人が参加しました。

1979年に開催された第35回世界選手権平壤(ピョンヤン)大会シングルの部で優勝した小野誠治さん(ヤマト卓球)を講師に、参加者はサーブやスマッシュの基本技術などを学びました。

参加した松井涼さん(総領小6年)は「指導者からたくさんのおアドバイスをもらいました。将来、卓球選手になりたいと思います」と目を輝かせていました。



小野さん(左から二人目)から指導を受ける参加者

商工観光課

広島市内で庄原の魅力をPR! 庄原観光講演会を開催

続いて第2部では、庄原市観光協会の熊本洋道さんが「神話と伝説の里」をテーマに、比婆山御陵や熊野神社など古事記にまつわるスポットを紹介。「おもしろい物語がたくさん残る庄原市へぜひ訪れてほしい」と呼びかけました。

参加者は「庄原の魅力が伝わり良かった。オープンガーデンや神話の舞台を巡ってみたい」と話していました。



講演する熊本さん

商工観光課

里山の魅力を発見・発信! 「庄原やまなみガイド養成講座」スタート

市内と庄原市観光協会は、本市の魅力を広く発信してもらう「庄原やまなみガイド養成講座」を6月21日からスタートしました。

国内外を問わず活躍する「健康」「旅」「山歩き」の専門家、清水正弘さんを講師に、座学講座と実地講座を計5回実施するもので、約40人が受講しました。

楽笑座で開催した座学講座では、「庄原の魅力って何?」「ガイドするって、楽しい?」をテーマに、外部から見た本市の魅力や、観光客に満足を与えるガイド術などを学びました。

受講者は「自然



講師の清水さん



清水さんの話に聞き入る参加者

の美しさとともに、地域に伝わる物語や歴史も観光客を引き付ける大きな力になることを知った」などと話していました。

今後、9月20日(日)に道後山、10月30日(金)に庄原さとやまオープンガーデン、11月21日(土)に帝釈峡で実地講座を行います。興味をお持ちの方は☎0824・75・0173(庄原市観光協会)へぜひお申し込みください。

商工観光課

売れる!特産品開発講座を開催 新たな特産品づくりに向けて講座がスタート

庄原観光いちばん協議会が主催する「売れる!特産品開発講座」が、7月1日から庄原・高野・東城の3会場ですタートし、延べ1000人を超える参加者が熱心に受講しました。

講座では、講師の醍孝洋さん(醍孝洋)が、毎回、異なるテーマに沿って、売れている特産品の事例紹介や新しい特産品づくりのヒントなどを分かりやすく説明。また、参加者自らが開発したい特産品のプレゼンテーションや、試食品に対する意見交換など、内容の濃い講座となりました。

この講座は6回シリーズで、残り3回を8月19日・9月17日の間で開催します。興味のある方はぜひお問い合わせの上、ご参加ください。

●庄原観光いちばん協議会事務局(商工観光課にぎわい観光係) ☎0824・73・1179



特産品の事例を紹介する醍さん

比和支所

子育てを応援します 3地域合同なかよしサロン

口和・高野・比和地域の子どもやその保護者を対象にした「なかよしサロン」が6月23日、比和自治振興センターで行われました。

これは、各地域でも毎週のように行われている子育て支援事業の一環で、毎回10人から多いときは20人ほどが参加しています。

この日は、アロマセラピーインストラクターの滝口季里花さんから、アロマを使った虫除けスプレートの作り方やベビーマッサージの方法を教わりました。皆さん真剣に耳を傾けながら、教わった方法を実践していました。

ベビーマッサージを教わった参加者は「子どもとの大事なコミュニケーションのとり方の一つとして、これからも実践していきたい」と話していました。



交流を深める参加者



「住宅デー」で修繕ボランティア

広島県建設労働組合第12地域連合庄原が奉仕活動・6/25～28

No.6

全国統一「住宅デー」の6月25日を中心に、全国各地で建設労働組合による技術奉仕活動が行われました。

市内では広島県建設労働組合第12地域連合庄原の組合員49人が各保育所・小学校・一人暮らしの高齢者宅を訪問し、施設などを修繕しました。

12人の組合員が訪れた峰田保育所では、所内の建具の調整、園児の荷物を入れる棚やスノコなどを製作。同保育所の福留加寿美所長は「園児は『本物の大工さんが来た～』と迎え、皆さんの手際のよい作業に興味津々だった。棚などの製作や傷みのある所を修繕していただき、大変にありがたい」と喜んでいました。



▲峰田保育所でスノコを作る建労働組合員の皆さん

刀匠の久保さんが名刀を再現

新作名刀展高松宮記念賞を受賞

No.8

平成27年度新作名刀展で「高松宮記念賞」を受賞した、西城町在住の刀匠久保善博さんの作品が、7月14日から8月30日まで頼山陽史跡資料館（広島市中区）の特別展で紹介されています。

受賞作品は、鎌倉時代から作られた備前長船の古刀が持つ特徴で、明治以降途絶えていた「映り」と呼ばれる模様を再現しています。

久保さんは受賞を喜び、「刀の武器としての怖さではなく、「美しさ」に注目してもらいたい」と刀の魅力を語るとともに、「今後の現代刀の魅力発信にも尽力したい」と決意を述べていました。



▲名刀の前で受賞を喜ぶ久保さん

幻の音が復活

フィルモン音帯視聴会・7/5

No.5

昭和10年頃に発明されたフィルモン音帯（フィルムテープ）の視聴会が、口和郷土資料館で開催されました。

同館に寄贈されたフィルモン音帯は、当時世界でも珍しい長時間レコードで、安部博良館長が長崎放送から預かっていた再生機械を約2カ月間かけて修理し、幻の音を復活させました。

視聴会には約30人が訪れ、長唄、常盤津、軽音楽、国民歌謡などに聴き入りました。

安部館長は「大変貴重なフィルモン音帯を寄贈され、どうしてもその音を聴きたく再生機を修理しました。ぜひ多くの皆さんに聞いてもらいたい」と話していました。



▲フィルモン音帯について語る安部館長(右)

夏の国定公園を満喫

帝釈峡ウォーク・7/12

No.7

国定公園帝釈峡で「帝釈峡ウォーク」が開催され、市内外から約160人が参加し、にぎわいました。

今回用意されたのは、誰でも気軽に参加できる「かわせみコース(約5km)」と、健脚向けの「はんざきコース(約9km)」の2つ。

参加者はボランティアガイドからコース沿いに現れる植物や岩の由来などの説明を聞きながら歩を進め、心地よい汗を流していました。雄橋に設置された給水所では、東城高校「東城応援隊」のメンバーがお茶を振る舞い、参加者の喉を潤しました。

午後からは、東城中学校吹奏楽部と新見ウインドアンサンブルの演奏を聞きながら、川魚の塩焼きやトマトとキュウリの丸かじりなど地元の味を楽しみ、帝釈峡の魅力を満喫していました。



▲ウォーキングの様子

浴衣の着付けにチャレンジ

比和で着付け教室・7/6

No.2

浴衣の着付け教室が比和自治振興センターで行われ、町内から15人が参加しました。

参加者は、美容師の貞兼由季さんと和服アドバイザーの米沢かおりさんに浴衣をきれいに着るコツ、帯の締め方などの指導を受けながら、実際に自分たちで浴衣の着付けにチャレンジ。

初心者の方が着付けをすると思った以上に体力を使うようで、皆さん汗だくになりながら浴衣を着ていました。

着付けを終えた人は「自分で着付けができるようになってうれしい。これからお祭りや花火大会にも着ていけるので楽しみにになった」と声を弾ませていました。



▲浴衣の着付けを習う参加者

しょうばら花会議が大臣表彰

花と緑の愛護活動が高く評価・5/29、6/8

No.4

「しょうばら花会議」は5月29日、宮崎県総合文化公園で開催された全国「みどりの愛護」のつどいに出席し、皇太子殿下ご臨席のもと、「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を受賞しました。

これは、国営備北丘陵公園内の花壇の手入れや、ガーデンニング講習会など、花と緑の愛護活動が高く評価されたものです。6月8日には、同会議の佐藤浩子理事長と齊木義伸副理事長が木山耕三市長を訪問し、受賞の喜びを語りました。木山市長は「今回の受賞は市民にとってもうれしいこと。これを励みに、市としても花と緑のまちづくりをさらに進めていきたい」と話していました。



▲木山市長に受賞を報告する佐藤理事長(中)と齊木副理事長(右)

農業体験で世代間交流

亀谷自治会が土曜塾・6/13

No.1

総領町亀谷自治会の子もたち7人が、地域住民13人と一緒にさつまいもの苗植えを行いました。

同自治会では「土曜塾」と銘打ち、子どもを対象に地域の特色を生かした体験活動や世代間交流などを行っていて、さつまいもの苗植えは今年で7回目になります。

子どもたちは落合訓光さんの畑で、地域の方の指導を受けながら用意された苗100本を手際よく植えました。植えた苗は、水やりなどして自分たちで育てます。秋には収穫し、地域の方が丹精込めて育てた農産物と一緒に、地域の収穫イベントで販売する予定です。



▲地域の方の指導で苗を植える子どもたち

森林の役割を学習

高野小児童が「森と水の学習会」に参加・6/25

No.3

アサヒビール(株)、林野庁・広島北部森林管理署、森林総合研究所広島水源林整備事務所が主催する「森と水の学習会」が、アサヒの森と彦山山国有林(高野町上湯川)で開催され、高野小学校5・6年生29人が参加しました。

参加した児童は、枝打ちロボット作業見学や塩化ビニールパイプで川底の音を聴く実験、水の浄化実験や丸太切り体験を通じ、森林のさまざまな役割や水の大切さについて学習しました。

参加した坂口宙くん(高野小6年)は「森は水を蓄えてくれていることが分かった。もっと森について調べてみたい」と興味を示していました。



▲丸太切りを体験する児童

★ヒバゴン郷どえりゃあ祭★

夜空を彩る2,000発の花火と西城川の清流を照らすたくさんの灯ろうが見どころです。どえりゃあパレードや子ども抽選会、そのほか楽しい催しがいっぱいです。

- とき 8月13日(木) 15時~22時
- ところ 西城町市街地
- 問い合わせ 庄原市観光協会西城支部 ☎0824-82-2727

★東城「遊夏祭」★

多くの出店が集まり、とてもにぎやかな祭です。ステージショーをはじめ楽しい催しが盛りだくさん。伝統の盆踊りも継承しています。山間に響く1,000発の花火は見応えあり!

- とき 8月15日(土) 16時~
- ところ 東城小学校グラウンド
- 問い合わせ 東城「遊夏祭」実行委員会(東城町商工会内) ☎08477-2-0525

★ふるさと盆踊り・花火大会 in 比和★

会場近くを流れる比和川沿いに500個余りの灯ろうが設置され、幻想的な光で辺りを照らします。ミニゲームや盆踊りの後、花火が比和の夜空を飾ります。

- とき 8月15日(土) 19時~21時30分
- ところ 比和中学校グラウンド
- 問い合わせ 盆踊り花火大会実行委員会(備北商工会比和支所) ☎0824-85-2330

今年も暑い夏がやってくる!

庄原夏まつり

8月は夏祭り月間!恒例の夏祭りが市内各地で開催されます。見物はもちろん、食べてよし、踊ってよし、とにかく参加して楽しもう!

★庄原よいとこ祭★

庄原の夏を締めくくる一大イベントです。22日夜の恒例パレードでは、出演団体の熱き踊りが観客を魅了します。特設ステージやバザー、芸能祭など各種イベントが盛りだくさんです。

- とき 8月22日(土)・23日(日)
- ところ 庄原市市街地 ほか
- 問い合わせ 庄原よいとこ祭運営委員会 ☎0824-73-1179

★しょうばら夏まつり花火大会★

約3,000発の花火が、庄原の夜空を華やかに彩ります。水面に映る仕掛け花火もみどころです。

- とき 8月23日(日) 19時30分~ ※雨天の場合は26日(月)に順延
- ところ 上野公園
- 問い合わせ 庄原市観光協会庄原支部 ☎0824-73-0602

職場のママハラでつらい思い、していませんか? 妊娠・出産などを理由に解雇したり、退職を強要することなどは、男女雇用機会均等法等で禁止されています。妊娠などを理由に不利益な取り扱いを受けたら、困ったりしたことがあったら、広島労働局雇用均等室へご相談ください。



西田篤史さん 松本裕見子さん

庄原市制施行10周年記念式典 庄原いちばん10thフェスティバル司会者決定!

10月11日(日)に国営備北丘陵公園で開催する「庄原市制施行10周年記念式典・庄原いちばん10thフェスティバル」の司会者に、テレビでおなじみの西田篤史さん(庄原市ふるさと大使)と松本裕見子さんの2人が決定しました。フェスティバルは、2人に大いに盛り上げていただきます。多くの皆さんのお越しをお待ちしています!

問い合わせ 総務課行政係 ☎0824-73-1123

あなたの相談をお受けします

悩みごと、心配ごと、お困りごとなど、お気軽にご相談を

各種相談	とき	ところ	備考	問い合わせ
定期巡回児童相談	庄原 8月20日(木)10時~16時	庄原市保健福祉センター	広島県北部子ども家庭センターによる相談。1週間前までに予約。	児童福祉課あんしん支援係 ☎0824-73-0051 東城支所市民生活室 ☎08477-2-5131
	東城 9月10日(木)10時~16時	東城支所		
人権相談	庄原 8月18日(火)・9月1日(火) 13時30分~16時30分	庄原市ふれあいセンター	人権擁護委員	三次人権擁護委員協議会 ☎0824-62-2572
	西城 9月10日(木)13時30分~16時30分	西城自治振興センター		
	東城 9月3日(木)13時30分~15時30分	東城ふれあいセンター		
	比和 8月20日(木)13時30分~15時30分	比和自治振興センター		
	総領 9月9日(水)9時~11時	総領健康福祉センター		
行政相談	庄原 8月20日(木)13時~15時30分	庄原市ふれあいセンター	行政相談委員	市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1154
	西城 8月20日(木)13時30分~15時30分	西城保健福祉総合センター(しあわせ館)		西城支所市民生活室 ☎0824-82-2124
	口和 8月20日(木)13時30分~15時30分	口和保健センター		口和支所市民生活室 ☎0824-87-2112
	比和 8月20日(木)13時30分~15時30分	比和自治振興センター		比和支所市民生活室 ☎0824-85-3001
	総領 9月9日(水)9時~11時	総領健康福祉センター		総領支所市民生活室 ☎0824-88-3063
	庄原 9月8日(火)13時~16時	庄原市ふれあいセンター		広島弁護士会三次地区会による無料相談。要予約
生活安全相談	庄原 8月24日(月)13時~16時	口和保健センター	生活安全相談員	市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1244
	毎週月~金(祝日・年末年始除く) 9時~12時、13時~15時45分	東城支所市民生活室 市民生活係		東城支所市民生活室 ☎08477-2-5121
家庭児童相談	毎週月~金(祝日・年末年始除く) 9時~15時45分	児童福祉課あんしん支援係	家庭児童相談員	家庭児童相談専用 ☎0824-73-1243
消費生活相談	毎週月~金(祝日・年末年始除く) 9時~12時、13時~16時	市民生活課市民生活係内 庄原市消費生活センター	消費生活相談員	庄原市消費生活センター ☎0824-73-1228 市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1154
学校での体罰・ハラスメント相談	随時	教育指導課学事係(各学校でも受け付け)	プライバシーの保護、秘密保持を徹底します。	教育指導課学事係 ☎0824-73-1183
障害者相談	毎週月~金(祝日・年末年始除く) 9時~15時45分	社会福祉課障害者福祉係	障害者相談支援員	障害者相談専用 ☎0824-73-1249
障害者相談員定期相談会	庄原 9月14日(月)13時30分~16時30分	庄原市ふれあいセンター	知的	社会福祉課障害者福祉係 ☎0824-73-1210
	口和 9月8日(火)9時~12時	口和保健センター	知的	
エイズ検査・相談	9月2日(水)13時~14時30分	広島県北部保健所(広島県三次庁舎第3庁舎) 三次市十日市東4-6-1	事前予約が必要。検査は無料・匿名で受けられます。エイズ相談は随時受けられます。	広島県北部保健所保健課 ☎0824-63-5181

母子保健事業 ●保健医療課健康推進係 ☎0824-73-1255

事業名	とき	ところ	持ってくるもの	備考
母子手帳交付	8月17日(月)・9月7日(月) 9時~17時	保健医療課	特になし	支所は随時(事前連絡必要)
パパママひろば(妊婦教室)	9月2日(水)13時30分~15時	東城こどもの館	母子健康手帳 参加費100円	申し込み必要
	9月11日(金)13時30分~16時	庄原市保健福祉センター	母子健康手帳	申し込み必要
離乳食教室	9月3日(木)13時~16時	西城保健福祉総合センター(しあわせ館)	母子健康手帳 筆記用具	申し込み必要
	9月15日(火)13時30分~15時	庄原市保健福祉センター	母子健康手帳 エプロン・三角巾 筆記用具	申し込み必要
育児相談	9月14日(月)13時~15時	庄原市保健福祉センター	母子健康手帳	支所でも実施(詳細はお問い合わせください)

募集項目	応募資格	受付期間	試験期日
防衛大学校 学生	高卒(見込み含む)~ 21歳未満	9月5日(土)~9日(水)	9月26日(土)・27日(日)
		9月5日(土)~9日(水)	1次:9月26日(土) 2次:10月31日(土)・11月1日(日)
		9月5日(土)~30日(水)	1次:11月7日(土)・8日(日) 2次:12月8日(火)~12日(土)
		平成28年1月20日(水) ~29日(金)	1次:平成28年2月20日(土) 2次:平成28年3月11日(金)
防衛医科大学校 医学科学生		9月5日(土)~30日(水)	1次:10月31日(土)・11月1日(日) 2次:12月16日(水)~18日(金)
防衛医科大学校看護学科 学生(自衛官コース)		9月5日(土)~30日(水)	1次:10月17日(土) 2次:11月28日(土)・29日(日)

試験の詳細は左の表のとおりです。待遇・給与など詳しくは、自衛隊広島地方協力本部ホームページまたは、三次地域事務所(☎0824・62・0350)にお問い合わせください。



平成27年度 自衛官募集

催し・講座

備北地区中学生意見発表大会

庄原市、三次市の中学生による意見発表大会を開催します。中学生たちが、日常生活や自らの体験を通して日頃考えていることを発表します。ぜひ聞きに来てください。

とき 8月20日(木)
10時~15時30分

ところ 庄原市ふれあいセンター

問い合わせ 児童福祉課児童福祉係
☎0824・73・1192

宝くじ文化公演
由紀さおり・安田祥子
ファミリーコンサート

とき 9月2日(水)
19時開演(開場18時30分)

ところ 庄原市民会館

入場料(全自由席)
一般 2500円
(当日3000円)
高校生以下 1500円
(当日2000円)

※宝くじの助成により特別料金になっています。
※庄原市民会館友の会会員割引は適用になりません。
※前売りで完売の場合、当日



券の販売はありません。※3歳未満は鑑賞料無料。座席が必要な場合は有料。

「チケット販売所」

庄原市民会館、食彩館しょうばらゆめさくら、ジョイフル、ザ・ビック庄原店、ウイル西城

問い合わせ 庄原市民会館
☎0824・72・4242

生涯学習課社会教育係
☎0824・73・1188

平成27年度庄原市児童生徒科学研究作品展

市内小・中学校の児童生徒が学校や家庭で研究した科学研究作品の中から、特選・入選作品を展示します。日常や理科などの学習で、児童生徒がどのような興味をもち、どのように研究しているのか、ぜひご覧ください。

とき 9月5日(土) 10時~18時
9月6日(日) 10時~16時

ところ 庄原市リサイクルプラザ(庄原市是松町20・25)

問い合わせ 教育指導課指導係
☎0824・73・1184

人権作品募集

生命の尊さや生きることにすばらしさ、平和の大切さを表現した作品を募集します。応募資格は問いません。多くの皆さんのご応募をお待ちしています。

募集部門

①標語の部 ②詩・作文の部
③絵画・詩画・ポスター・写真などの部

応募方法

・作品は未発表のものに限り1人1点とします。
・作品には住所または学校名・学年、氏名(ふりがな)をご記入ください。
・優秀作品の発表および表彰は、庄原市人権講演会で行い、入賞者へは賞状と記念品を贈呈します。
・作品を直接持参する場合は、生涯学習課または各支所教育室まで。郵送の場合は、生涯学習課宛にお送りください。なお、応募作品の返却は原則として行いません。

募集締め切り
9月4日(金)必着

作品の送り先・問い合わせ
〒727・8501
庄原市中本町一丁目10番1号
生涯学習課社会教育係

道後山高原クローンパーク自然観察会

トリカブト、ヤナギタンポポ、ミヤコアザミ、タムラソウ、アケボノソウなど園内に咲く四季折々の山野草を観察することが出来ます。ガイド付きで、そのほかさまざまな山野草の説明をします。

とき 9月6日(日) 10時~

集合場所・受け付け 道後山高原総合体育館
参加費 500円

問い合わせ 道後山高原クローンパーク
☎0824・84・2727

募集

広島県立農業技術高等学校 学生募集

本校は2年制の専修学校で、農業・農村の担い手育成を目標に、農業の実践学習を中心とした、農業の専門的な知識・技術および経営管理能力を養成しています。

学科と定員 本科40人程度

- 園芸課程(野菜・花き、落葉果樹の2コース)
- 畜産課程(肉用牛コース)

修業年限 2年

入学資格 将来農業に従事しようとする者、農業・農村の

☎0824・73・1188

庄原市ふるさと応援団員募集

遠くにおいても古里庄原市の発展を応援したい。そんな思いを持った皆さんが集まる組織が「庄原市ふるさと応援団」です。現在、団員を募集しています。市外にお住まいで庄原市にゆかりのある方、また庄原市が好きな方であれば誰でも入団できます。

団員の活動

①庄原市の魅力発信への協力
②庄原市の参考となる資料の提供

申込書は市ホームページでダウンロードできるほか、商工観光課から送付します。

申し込み・問い合わせ

☎0824・73・1131
各支所産業振興室・産業建設室

担い手を目指す者で、高卒または同等以上の学力のある者
学費など(平成27年度)
授業料年額11万8800円
学生寮費年額12万7200円

試験日程など

	願書受付期間	試験日
推薦入試	9月16日(水)~10月8日(木)	10月23日(金)
一般入試(前期)	11月17日(火)~12月7日(月)	12月21日(月)
一般入試(後期)	平成28年2月1日(月)~24日(水)	平成28年3月4日(金)
社会人特別入試	10月1日(木)~12月7日(月)	12月21日(月)

問い合わせ 広島県立農業技術高等学校教務課
☎0824・72・0094

警察官募集

平成28年4月採用予定の警察官(男女)を募集します。

受付期間 8月28日(金)まで

試験時期

- 第1次(教養試験など) 9月20日(日)
- 第2次(体力試験など) 10月10日(土)または11日(日)

提供 ③特産品・農産物などの購入とPR ④ふるさと納税への協力とPR

団員の特典

情報誌(会報誌)の送付、市内協賛店での優待や割引など

登録方法など

登録期間は1年間で、年度ごとに更新します。申込書でいつでも入団、脱退ができます。入団者には団員証を作成し郵送します。

農地中間管理事業の借り受け希望申し込み

農地中間管理事業を活用して農地を借り受けたい方は、次の期間中に申し込みする必要があります。

期間 9月1日~10月1日

申し込み・問い合わせ

☎0824・73・1131
各支所産業振興室・産業建設室

ダム湖の名称を募集します

広島県と庄原市が共同事業として建設を進めている庄原ダムが、平成27年度末に完成する予定です。このダムのダム湖の名称を皆さんから募集します。名称は地域の特徴を表し、覚えやすく、多くの人が親しめる、ダム湖にふさわしい名称を募ります。

庄原ダムは、洪水調節による災害の防止や水道用水の確保を目的として、川西町に建設中の多目的ダムです。

応募資格 庄原市在住の方であれば、どなたでも応募可。

応募方法 官製はがき、FAX、電子メールのいずれかで、①名称(ふりがな)②名称の理由③住所、氏名(ふりがな)、年齢、性別、電話番号を明記し、下記応募先へ送付。

選考方法 名称検討委員会の選考により、応募作品の中から決定します。採用者には、5千円相当の図書券を進呈します。該当者が複数名の場合は抽選で決定します。※名称選考の結果は、広報しようばら、市ホームページなどで発表します。

応募締め切り 9月30日(水)(必着、郵便の場合は当日消印有効)

注意事項

- 応募は1人何点でも可能。ただし、同じ名称は1人1点限り。
- 同じ読み方の名称であっても、漢字、ひらがななどで表記が異なる場合には、別作品とみなす。
- 応募作品に関する一切の権利は、広島県に帰属する。
- 応募作品は返却しない。
- 応募者の個人情報(目的以外)に使用しない。ただし、名称の発表では氏名・住所の一部を公表する。

応募先・問い合わせ

広島県北部建設事務所庄原支所 庄原ダム建設事業課
〒727-0011 庄原市東本町一丁目4番1号
☎0824-72-2015 (代表)
FAX0824-72-7341
メール djnsdamu@pref.hiroshima.lg.jp

一人でも悩まないで まず相談してください。

業務のご案内

- 不動産の名義変更 ●成年後見
- 相続登記・遺言 ●会社の登記
- 借金の整理 ●簡易裁判所訴訟代理等

●詳しくはホームページに書いています。

庄原 司法書士

検索

司法書士 飯田 一生

広島北部司法事務所 (新設代理権認定第524014号) (広島司法書士会所属)
(司法書士登録番号026号)
〒727-0013 広島県庄原市西本町四丁目20番17号 ハルナシユB2階 TEL.0824-72-2315 (夜予約)

国営備北丘陵公園だより

備北公園「夏まつり」開催中！

8月31日(月)まで

公園では、8月31日(月)まで「夏まつり2015」を開催しています。いこいの森「カブトムシドーム」や園内各所の「水遊びコーナー」、ひばの里の「さとやま体験」など、小さなお子さんから大人の方まで皆さんで楽しめるイベントが盛りだくさんです!!

備北公園管理センター ☎ 0824-72-7000 (<http://www.bihoku-park.go.jp/>)

カナディアンカヌー体験
国兼池でカヌーに乗ってみませんか?
とき 8月13日(木)～16日(日)、8月23日(日)、8月30日(日)
参加費 1艇(2～3人) 2000円
定員 各回5艇

カブトムシドーム 大人気公開中!
公開期間 8月中旬頃まで(予定)
※カブトムシの発生状況によって、変更する場合があります。
公開時間 10時～18時(いこいの森入園は17時まで)
ところ いこいの森 ※最寄り駐車場:第7駐車場

3万本のユマツリ畑
公開期間 8月上旬頃まで(予定)
※天候によって、開花時期が変更する場合があります。
ところ みよりの里ピクニック広場 ※最寄り駐車場:第2駐車場

ひばの里 さとやま体験
竹とんぼや水鉄砲が作れます。
とき 8月16日(日)・22日(土)・23日(日)・29日(土)・30日(日)
参加費 1個200円
定員 1日30人

大流しうどん
といを流れるうどんをすくって、食べられます。
とき 8月15日(土)・16日(日)
参加費 1食350円
定員 1日100食

水遊び情報
●パワーパドラー ※有料
公開期間 8月16日(日)
利用時間 9時30分～17時30分
ところ 中の広場
●ミストシャワーの迷路「霧海」※無料
公開期間 8月31日(月)
利用時間 9時30分～17時30分
ところ 中の広場

パワーパドラー ※有料
公開期間 8月16日(日)
利用時間 9時30分～17時30分
ところ 中の広場

ミストシャワーの迷路「霧海」 ※無料
公開期間 8月31日(月)
利用時間 9時30分～17時30分
ところ 中の広場



パワーパドラー



カナディアンカヌー



大流しうどん

NHKにっぽん縦断

併優の火野正平さんが、番組に寄せられた手紙をもとに全国を自転車で旅するNHK・BSプレミアム番組「にっぽん縦断」が、広島を訪れます。番組では、視聴者のこころに残る何気ない風景や、みんなに伝えたい風景を募集しています。

県内で4エピソードを撮影予定です。皆さんのこころに残っている庄原市内の風景とエピソードを手紙にして送ってみませんか。
手紙募集締め切り 9月7日(月)必着
広島県エピソード放送予定 10月12日(月)～16日(金)
投稿方法 ①はがき・封書で〒150-8001「こころ旅」係(住所不要)に郵送
②FAXで03-3465-1327に送信
③番組ホームページ(こころ旅で検索)の投稿フォームを利用
問い合わせ NHKふれあいセンター ☎0570-066-066
番組ホームページ <http://www.nhk.or.jp/kokorotabi/>

その他

特別障害者手当・障害児福祉手当の支給
●特別障害者手当
対象 身体または精神に著しく重度の障害があるために、日常生活で常時、特別の介護を必要とする状態にある20歳以上の者。(審査あり)
支給額 月額2万6620円(原簿介護手当との支給調整あり)

●障害児福祉手当
対象 身体または精神に重度の障害があるために、日常生活で常時、介護を必要とする状態にある20歳未満の人。(年金受給者は対象外)
支給額 月額1万4480円
※施設に入所した場合は、支給資格を失います。(必ず資格喪失届を提出してください)

●手続きに必要なもの
診断書(指定の用紙)、印鑑
所得状況届、年金・恩給受給額の確認書類、振込先通帳など。

手続き・問い合わせ

社会福祉課障害者福祉係 ☎0824-73-1210
各支所市民生活室
8月は「道路ふれあい月間」です
「あいさつの大きな声がひびく道」(平成27年度「道路ふれあい月間」推進標語小学生の部) 最優秀作品
私たちが日頃何気なく使っている道路には、色々な機能があります。「道路ふれあい月間」を契機に、安全で快適な道路環境を保つため、道と生活との関わり、魅力ある地域づくりのための道路の役割や、正しい利用などについて考えてみましょう。

お問い合わせ 建設課管理係 ☎0824-73-1150

全国大会

あっぱれ! 庄原 上位入賞者を掲載します。(敬称略)

全国レベルの大会出場者・全国・県レベルの大会、市が共催する各種大会などの掲載します。(敬称略)

全国ラジボール卓球大会
(6月18日～21日/愛知県豊田市)

中国大会

●女子ダブルス120A
第2位 岩本 里美(西本町) 豊田 都(高町)
●混合ダブルス120B
第3位 山本 隆明(板橋町) 上藤 純子(山内町)

中国高校総体陸上競技大会
(6月19日～21日/島根県浜田市)
●男子3000mSC
第3位 山口 和也 (世羅高3年・西城町)

県大会

中国高等学校ライフル射撃競技選手権大会県予選
(5月31日/安芸太田町)
●ビームライフル立射40発競技女子個人戦
第4位 河内 幸紀(西城紫水高1年)
広島マスターズ陸上競技選手権大会
(6月7日/びんご運動公園陸上競技場)

中国大会

●60m M35(35～39歳)
第1位 荒木 通広(新庄町)

広島県高等学校定時制通信制総合体育大会
(6月20日・21日/コカ・コーラウエスト陸上競技場ほか)
●陸上競技(砲丸投げ)
第2位 大掛 恵造 (三次高定時制4年・西本町)
●卓球(女子個人の部)
第1位 平田 美咲 (三次高定時制3年・戸郷町)

全日本中学校通信陸上競技大会

全日本中学校通信陸上競技大会
(7月4日～5日/エディオンスタジアム広島)
●中学2・3年女子800m
第4位 谷口 優(東城中2年)

知らないで損! やらないともっと損!! の過払い金請求

「過払い金」とはあなたが知らずに払い過ぎた利息のこと。過払い金は簡単な手続きで戻ってきます。あなたがするのは「やくも」に電話をかけるだけ!あとは全てやくもにお任せ下さい!

無料個別相談会 予約制

8/21 庄原市民会館 庄原市西本町 2-17-15

8/21 十日市コミュニティセンター (JR三次駅側) 三次市十日市南1-2-18

日程のご都合が合わない方もご相談下さい。無料個別相談いたします。ご自宅もしくはご希望の場所での相談も可能です。

やくも 0120-892-095 (9:00～21:00 土・日・祭日も可)

女性専用ダイヤル 0120-892-195 (9:00～18:00 平日)

司法書士 石井徳樹 (鳥取県司法書士会所属 認定番号第612012号) 米子市加茂町2丁目180番地 国際ファミリープラザ608号 TEL.0859-30-4242

人の動き（庄原市の人口）
平成27年6月末現在

【住民基本台帳登録人口】
人口 37,838人（前年比-741人）
男 17,908人（前年比-347人）
女 19,930人（前年比-394人）
世帯数 15,913世帯（前年比-40世帯）
【うち外国人】人口 339人（前年比+36人）

市税・水道料金・下水道使用料納付は口座振替が便利です

手続きは各金融機関の窓口でお願いします。残高確認も忘れないでください。

- 税務課収納係 ☎0824-73-1145
- 下水道課管理係 ☎0824-73-1175
- 水道課業務係 ☎0824-73-1197

休日診療のご案内

8月・9月の休日診療については、次のとおりです。

- 庄原市休日診療センター
診療日：日曜・祝日・年末年始（12/30～1/3）
☎診療日 ☎0824-72-9900
診療日以外 ☎0824-73-1155（保健医療課）
- 東城地域

8月13日(木)	こぶしの里病院	☎08477-2-5255
14日(金)	日伝医院	☎08477-2-2180
15日(土)	東城病院	☎08477-2-2150
16日(日)	三上クリニック	☎08477-2-1151
23日(日)	瀬尾病院	☎08477-2-0023
30日(日)	細川医院	☎08477-2-0054
9月 6日(日)	日伝医院	☎08477-2-2180
13日(日)	三上クリニック	☎08477-2-1151

献血のご案内

☎保健医療課 ☎0824-73-1155

献血を次のとおり実施します。400ml 献血限定ですので、皆さんのご協力をお願いします。

実施日	会場	受付時間
9月4日(金)	庄原市役所東城支所	10時～11時30分 12時30分～15時

広報日記

▶広報しょうばらでは、毎年8月号で平和に関する記事を掲載しています。「70周年というくりで考えず、平日頃から非核・平和を訴える活動を行ってほしい」。中沢ミサヨさんの言葉です。広報しょうばらは、これからも平和を語り継ぐ一助となります。◎
▶毎年楽しみにしている夏まつり。庄原よいとこ祭のパレードでは、市役所チームの中に仮装で踊るグループがあります。これまで人気アニメのキャラクターやカープ女子に扮して踊っていましたが、今年のテーマは何になるでしょうか。お楽しみに！◎

食育コーナー

☎保健医療課 ☎0824-73-1255

夏ばて予防

暑い夏は体に無理が生じ、体調を崩しやすい季節です。生活リズムを守り、食生活に気をつけ、暑い夏を元気に乗り切りましょう！

◆夏ばての原因は

汗は体温を一定に保つのに必要ですが、汗とともにナトリウム、カリウム、カルシウムなどのミネラルも一緒に出てしまいます。その結果、体内のミネラルバランスが崩れ、疲労感が生じる原因になります。

また、暑くなると消化酵素の働きが低下します。暑いと冷たい飲み物をとることが多くなり、胃腸が冷えて消化不良を起こしてしまいます。

◆夏ばてを防ぐには

- 規則正しい生活を！
- ・1日3回、規則正しく、よく噛んで食べる。
- ・夜遅くまで飲食しない。
- ・十分な睡眠をとる。
- ・適度な運動をする。
- ビタミンB1をとるようにする！
- ・うなぎや豚肉、レバーなどに多く含まれる。
- ・ビタミンB1が不足すると、疲労感、脱力感、胃腸の消化・吸収能力の低下などになる。
- 緑黄色野菜をとる！
- ・夏の緑黄色野菜にはミネラルが多く含まれている。
- 水分
- ・ミネラル不足に注意！
- ・こまめに水分補給する。
- ・冷たい飲み物ばかりではなく、温かい飲み物も飲む。

レシピの紹介 大根おろしの冷しゃぶサラダ

- 材料（4人分）
豚薄切り肉（しゃぶしゃぶ用）…200g
レタス…160g
パプリカ（赤）…1/2個
きゅうり…100g
A 大根…300g
ポン酢…80cc



※1人当たり 147 kcal 塩分 1.8g

- 作り方**
- ①鍋にお湯を沸かし、豚肉を茹で、ザルにあげて冷ましておく。
 - ②レタスは食べやすい大きさに手でちぎる。パプリカはヘタと種を取り、薄くスライスする。きゅうりはせん切りにする。
 - ③大根をおろして、ポン酢と合わせておく。（A）
 - ④お皿に、レタス・きゅうり・パプリカ・豚肉をのせ③をかける。

配偶者や恋人からの暴力・暴言などで悩んでいませんか？
あなたの不安な気持ちをお話ください。
《家族や友人が心配という方もご相談できます。》

庄原市役所児童福祉課あんしん支援係
☎0824-73-1243 【月～金 9時～17時（年末年始・祝日除く）】

広島県西部 こども家庭センター	☎082-254-0391 休日夜間電話相談 ☎082-254-0399	月～金 10時～17時 月～金 17時～20時 土日祝 10時～17時
広島県北部 こども家庭センター	☎0824-63-5181(代) 内線 2313	月～金 10時～17時

比和自然科学博物館

☎0824-85-3005
開館：9時～17時（年末年始休館）

●モグラシリーズ(5)
ヒミズ



雪の多い地域で春になって雪が消えると、地表に何かがあったような2～3センチ幅の溝が、うねったようについていることがあります。

雪の下で何かが動いているのです。実はこの溝で行動していたのは「ヒミズ」というモグラの仲間だったのです。

一生涯地中で生活し、日（太陽）を見ずに死ぬということで「ヒミズ」という名前が付いたと言われています。しかし、ヒミズは地中にトンネルを掘って住んでいる訳ではありません。ヒミズの住むところは主に落葉などの下で、地表に体が隠れる程度の溝を掘り生活しています。そのため、前足はモグラ程発達しておらず、目は小さく耳介はありません。長い鼻先と毛の生えた、こん棒状の尾が特徴です。

ヒミズは溝を行ったり来たりしながら昆虫やミミズ、植物の種子などを食べて生活しています。また時々外にも出てくるようで、その時猫に襲われることもあります。

広島県北部ではヒミズのことを「スズカネ」や「ツツカネ」と呼んでいたようです。方言があるということは、かつては身近な動物だったと思われるのですが、今ヒミズを身近に感じている人は少ないのではないのでしょうか。

今回で5回のモグラシリーズを掲載してきました。モグラの仲間は、地表面や落葉の中などにいる「ジネズミ」、落葉の下で半地下生活をする「ヒミズ」、土の中のトンネルに暮らす「コウベモグラ、アズマモグラ」、水の中に暮らす「カワネズミ」など、うまく住み分けをして暮らしています。

他の動物や植物などもそれぞれに深く関連して生きているのです。我々人類もその一部に過ぎません。自然の営みの中には我々が学ぶことがたくさんあります。

ロビーコンサート

☎生涯学習課 ☎0824-73-1188

とき 8月24日(月) 12時15分～55分

ところ 市役所1階市民ホール

出演者 広島ジュニアマリンバアンサンブル（マリンバ演奏）

演奏曲目 「北の国から」「妖怪体操第一」ほか

▶『広島ジュニアマリンバアンサンブル』…浅田三恵子主宰。1991年結成。2002年「ヒロシマ国際平和文化活動推進団体」の認定を受け、ニューヨーク、香港、ロシア、フランスなど各国で国際親善活動を実施。2012年「第14回広島ユネスコ活動奨励賞」を受賞。メンバーは小学生から高校生までで年齢や経験年数はさまざま。一人一人が体中で音楽を感じ、全身を使って生き生きと個性豊かに演奏を繰り広げる。

市民ギャラリー「アート多愛夢」情報BOX（西本町二丁目1番21号）

市街地の空き店舗を活用した、各種展示ができる市民ギャラリーです。

ちくちくはうす玉手箱展（着物リメイク）
とき 9月8日(火)～10日(木) 10時～16時

☎庄原市文化協会事務局 ☎0824-72-5453
☎商工観光課商工振興係 ☎0824-73-1178
※展示を希望される団体(または個人)はお申し込みください。使用料は要りません。

食彩館しようばら ゆめさくら ☎0824-75-4411

8～9月のイベント情報

▶ゆめさくら講座

○かずら教室

①ひな壇型の花台
とき 8月21日(金) 9時30分～12時00分
参加費 3,300円
定員 10人

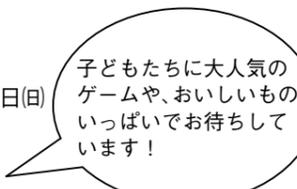
②糸ノコ工作(果物2個)
とき 8月21日(金) 13時30分～15時30分
参加費 1,300円
定員 10人

○草木染め教室
(広幅布を染めてテーブルセンターをつくる)
とき 8月24日(月)
①9時～12時 ②13時30分～15時30分
参加費 4,900円
定員 ①②各12人

▶展示・イベント
○アジアンドリーム展
とき 8月16日(日)まで
ところ 交流ホール

○ゆめさくら 夏まつり
とき 8月8日(土)～16日(日)
※11日(火)は営業します

○ゆめさくら土曜夜市
とき 8月8日(土) 18時～21時
口和エンジェルスのフラダンス
すけあくろうライブ・常定神楽戸山会上演



しょうばら九日市

毎月9日は、しょうばら九日市

★出店者募集中！あなたのお店を開こう。
★毎月20日が出店申込締め切りです。
★申し込みは楽笑座内九日市事務局 ☎0824-72-8285 まで
とき 9月9日(水) 9時～13時
ところ 中本町・まちなか広場周辺(のぼりが目印)
詳しくはHPで <http://kunchi-ichi.jp/information.html>



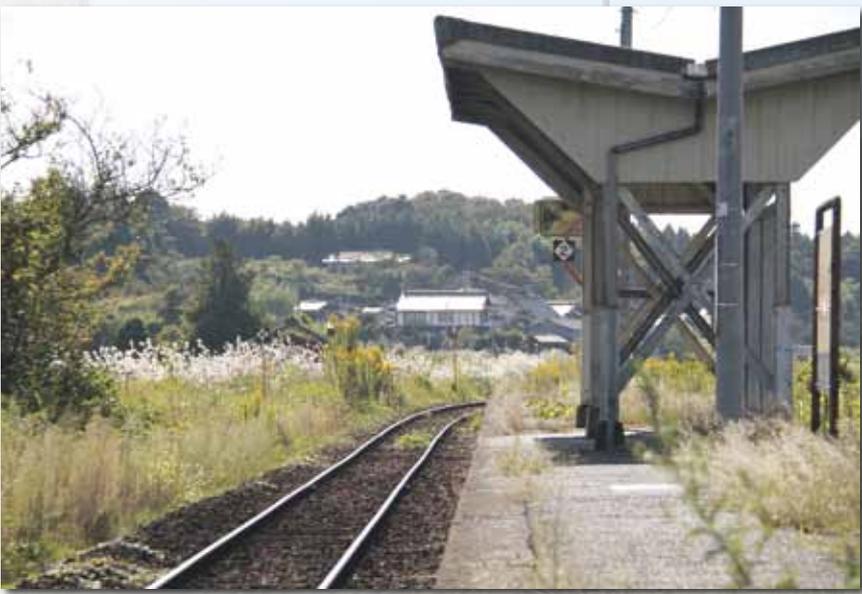
乗りんさい

芸備線



VOL.20

山ノ内駅



▲ (平成 26 年 10 月 17 日撮影)

山ノ内駅は庄原市で一番西に位置する駅で、この駅を越えると間もなく、列車は三次市へと入っていきます。大正13年、当時の芸備鉄道の駅として開業して以来、90年以上の歴史を刻んできました。駅前には商店・雑貨屋もあり、立ち寄るのにも楽しい場所になっています。

今年には芸備線が開業して100周年。広島や三次ではイベントも行われ、新聞でも芸備線の文字を目にすることが多いですが、「庄原も芸備線が通っているのに話題が少ないなあ」と少し寂しく感じています。

先日、ふとしたことで、昨年撮ったこの写真のことを思い出しました。

山内に用事があり山ノ内駅の近くを通ったので、駅に立ち寄り写真を撮ってみました。今なら夏草の緑が映える写真が撮れるでしょうか。今度は時刻表を見て、列車の来る時間に合わせて行ってみようと思います。夏休みの家族行事に、子どもを連れて乗ってみるのもいいかもしれませんね。

田中 健一 (上原町)

応募方法

庄原市内の鉄道路線に思わず乗ってみたくなる乗車エピソードやスポット情報を募集しています。写真と説明文(100文字程度)乗車体験記(200字程度)を郵送またはメールでお送りください。

応募先

〒727-8501
庄原市中本町一丁目10番1号
庄原市情報政策課広報広聴係
☎0824-73-1159
メール koho@city.shobara.lg.jp

庄原の食材を扱うお店を応援します!



ひろしま県民の森公園 レストラン比婆山

登録第47号店

所 西城町油木156-14
☎ 0842-84-2011
営 11:00~14:00, 18:00~20:30 (要予約)
休 なし (スキーシーズンは休みます)
HP http://kenmori.jp



取り扱う市内産食材

ほぼ毎日朝どり市で地元の食材を仕入れ、新鮮な旬の食材 (特に野菜) を使っています。

●料理長の宮脇利文さんに聞きました

なぜ、地産地消推進店に登録しようと思ったのですか?

地元で営業している以上、地元の食材 (特に野菜) を使うのは当然と思っています。地元の旬の食材を使ったメニューを季節に合わせてご用意しています。ご利用の皆さまにご満足いただきたいと思います。頑張っています。

お店の推進店としてのこだわりは?

手間を惜しまず手作りした料理をご用意して

います。その時期の旬の食材にこだわり、季節ごとにメニューを変えています。

皆さんへ一言

目にも鮮やかな新緑・避暑・紅葉狩り、爽やかなせせらぎと心地よく吹き抜ける風、私たちはこの自然も料理のひとつと思っています。皆さまにご満足いただけるようスタッフ一同頑張っています。ぜひお立ち寄りください。



▲広島牛サーロインステーキ・オニオンソース「庄原産アスパラとキヌサヤ・コゴミのてんぷら・新鮮野菜のサラダ」

『庄原地産地消推進店』に登録しませんか? 市は随時、地産地消推進店を募集しています。詳しくは、保健医療課健康推進係 (☎ 0824-73-1255) まで。